



Cisco Unified IP Phone 6921/6941/6945/6961 ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 8.6 (SCCP、SIP)

初版: 2011 年 07 月 04 日

最終変更: 2011 年 07 月 04 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

米国本社	アジア太平洋地域本部	ヨーロッパ地域本部
Cisco Systems, Inc. San Jose, CA	Cisco Systems (USA) Pte. Ltd. Singapore	Cisco Systems International BV Amsterdam, The Netherlands

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標です。シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks で参照できます。本書に掲載されているサードパーティの商標は、それぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)



Bluetooth の用語マークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、かかる商標の Cisco Systems, Inc. による使用はライセンスに基づいています。

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

Cisco Unified IP Phone の機能	1
Cisco Unified IP Phone 6921	1
電話機の接続部	1
ボタンとハードウェア	3
電話スクリーン	6
Cisco Unified IP Phone 6941	6
電話機の接続部	6
ボタンとハードウェア	8
電話スクリーン	11
Cisco Unified IP Phone 6945	11
電話機の接続部	12
ボタンとハードウェア	13
電話スクリーン	16
Cisco Unified IP Phone 6961	16
電話機の接続部	16
ボタンとハードウェア	18
電話スクリーン	21
電話に関する全般情報	21
フットスタンド	21
ハンドセット受け台の調整	24
省電力モード	25
アプリケーション	27
サービス	27
アクセス サービス	27
通話履歴	28
通話履歴の表示	28
コール レコードの詳細の表示	29

通話履歴のフィルタ	29
通話履歴からのダイヤル	29
電話番号の編集	30
通話履歴のクリア	30
コールレコードの削除	31
設定	31
呼出音	31
呼出音の変更	32
コントラスト	32
コントラストの調整	32
電話の情報	32
電話の情報の表示	33
管理者設定	33
連絡先	35
社内ディレクトリ	35
連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	35
コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	36
パーソナルディレクトリ	37
パーソナルディレクトリ オプション	37
パーソナルディレクトリへのログイン	38
新規エントリの追加	38
エントリの検索	38
パーソナルディレクトリからの連絡先へのダイヤル	39
エントリの削除	39
エントリの編集	40
ファストダイヤルコード	40
ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て	40
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	41
ファストダイヤルコードの削除	41
メッセージ	43
ボイスメールの個人設定	43

ボイス メッセージの確認	43
ボイス メッセージへのアクセス	44
コール機能	45
機能ボタンとソフトキー	46
エージェント グリーティング	48
応答	48
自動応答	48
ヘッドセットでの自動応答	48
スピーカフォンでの自動応答	49
折返し	49
折返し通知の設定	49
不在転送	49
コールの転送	50
コール パーク	50
コールのパーク	51
手動ダイレクト コール パークを使用したコールのパーク	51
処理されたダイレクト コール パークを使用したコールのパーク	52
コール ピックアップ	52
ピックアップを使用したコールの応答	53
グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答	53
グループ ピックアップと電話番号を使用したコールの応答	53
他グループ ピックアップを使用したコールの応答	54
コール待機	54
コール待機通知への応答	54
C 割込	54
共有回線の会議への参加	55
クラシック呼出音	55
コード	55
クライアント識別コードを使用したコールの発信	55
強制承認コードを使用したコールの発信	56
会議	56
会議への第三者の追加	56

複数のコールを接続して会議を実行	57
参加者を追加する前のコールの切り替え	57
会議参加者の表示	57
会議参加者の削除	57
即転送	58
コールの転送	58
サイレント	58
サイレントを有効にする	58
エクステンション モビリティ	59
エクステンション モビリティの有効化	59
ファストダイヤル	59
ファストダイヤルを使用したコールの発信	59
保留	60
コールの保留	60
保留中のコールとアクティブ コールの切り替え	60
新しいコールへの応答	60
共有回線でのリモート回線の保留	61
保留復帰	61
保留したコールの再開	61
ハントグループ	61
ハントグループへのログイン	62
インターコム	62
インターコム コールの発信	62
インターコム コールの受信	62
回線ステータス	63
回線ステータス インジケータ	63
迷惑呼 ID	64
不審なコールのトレース	64
ミーティング	64
ミーティング会議の開催	64
ミーティング会議への参加	65
モバイルコネクト	65

モバイル コネクトの有効化	65
コールをデスクの電話機から携帯電話に切り替え	66
コールを携帯電話からデスクの電話機に切り替え	66
コールのモニタリングと録音	66
MLPP (Multilevel Precedence and Preemption)	66
回線ごとの複数のコール	68
同じ回線上の 2 番目のコールへの応答	68
同じ回線上のコールの切り替え	69
異なる複数の回線上のコールの切り替え	69
複数のコールがある回線上でのコールの終了	69
最大発信コール数	69
同じ回線上の 2 つのコールを使用して会議を実行	69
同じ回線上の 2 つのコールの転送	70
複数の着信コール	70
共有回線	71
制限	71
ミュート	71
電話機のミュート	71
オンフック ダイヤル	72
オンフックでの電話番号のダイヤル	72
プラス ダイヤル	72
国際電話番号のダイヤル	72
プライバシー	72
共有回線でのプライバシーの有効化	73
品質レポート ツール	73
電話の問題のレポート	73
リダイヤル	73
番号のリダイヤル	74
共有回線	74
短縮ダイヤル	74
短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信	75
短縮ダイヤルコードを使用した発信	75

転送 75

別の番号へのコールの転送 76

別の回線へのコールの転送 76

転送完了前のコールの切り替え 76

WebDialer 77

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用 77

WebDialer と他の社内ディレクトリの使用 77

WebDialer の設定の管理 78

WebDialer のログアウト 78

ユーザ オプション 79

[ユーザ オプション] Web ページへのログイン 79

デバイスの設定 80

デバイスの選択 80

サイレント オプションのカスタマイズ 81

回線の設定 81

不在転送の設定 82

ボイス メッセージ インジケータ設定の変更 82

オーディオ ボイス メッセージ インジケータ設定の変更 83

呼出音設定の変更 83

電話機のディスプレイの回線テキスト ラベルの編集 84

Web での短縮ダイヤル 84

短縮ダイヤル ボタンの設定 84

短縮ダイヤル コードの設定 85

電話サービス 85

サービスへの登録 86

サービスの検索 86

サービスの変更 86

サービス名の変更 87

利用可能なボタンへのサービスの追加 87

ユーザ設定 87

ブラウザのパスワードの変更 88

PIN の変更 88

ユーザ オプションの言語設定の変更	88
電話機のディスプレイの言語の変更	89
ディレクトリ	89
個人アドレス帳	89
新しい個人アドレス帳エントリの追加	89
個人アドレス帳のエントリの検索	90
個人アドレス帳のエントリの編集	90
個人アドレス帳のエントリの削除	90
個人アドレス帳のボタンの割り当て	91
ファストダイヤル	91
ファストダイヤルのボタンの割り当て	92
ファストダイヤルコードの個人アドレス帳エントリへの割り当て	92
ファストダイヤルコードの電話番号への割り当て	93
ファストダイヤルエントリの検索	93
ファストダイヤル電話番号の編集	93
ファストダイヤル個人アドレス帳のエントリの削除	94
モビリティ設定	94
新規リモート接続先の追加	94
アクセスリストの作成	96
プラグイン	96
プラグインへのアクセス	97
よくある質問、トラブルシューティング	99
よくある質問	99
トラブルシューティングのヒント	100
会議	100
会議ボタンとソフトキーが反応しない	100
ミーティング会議のビジー トーン	100
パーソナルディレクトリ	101
パーソナルディレクトリにログインできない	101
共有回線	101
リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない	101
ユーザ オプション	101

- [ユーザ オプション] Web ページにアクセスできない 101
- Cisco Unified IP Phoneのクリーニング 102
- 製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報 103
 - 安全性とパフォーマンスの情報 103
 - 停電 103
 - 外部デバイス 103
 - シスコ製品のセキュリティ 104
 - アクセシビリティ機能 104
 - 追加情報 104
- 保証 107



第 1 章

Cisco Unified IP Phone の機能

この章では、Cisco Unified IP Phone 6921、6941、6945、および6961の機能について説明します。

- [Cisco Unified IP Phone 6921, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6941, 6 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6945, 11 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6961, 16 ページ](#)
- [電話に関する全般情報, 21 ページ](#)

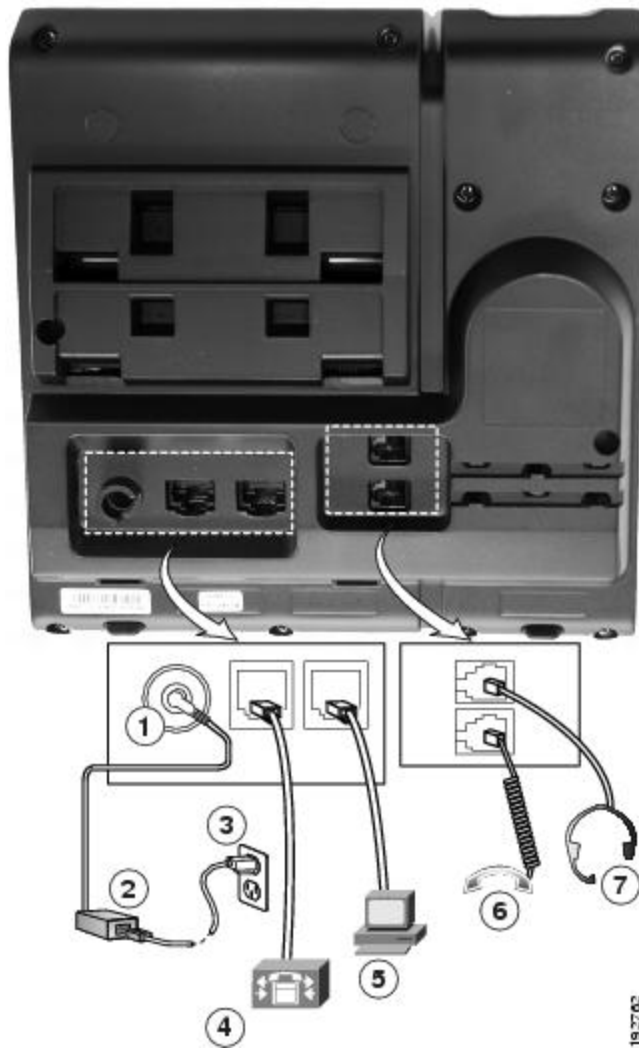
Cisco Unified IP Phone 6921

Cisco Unified IP Phone 6921 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

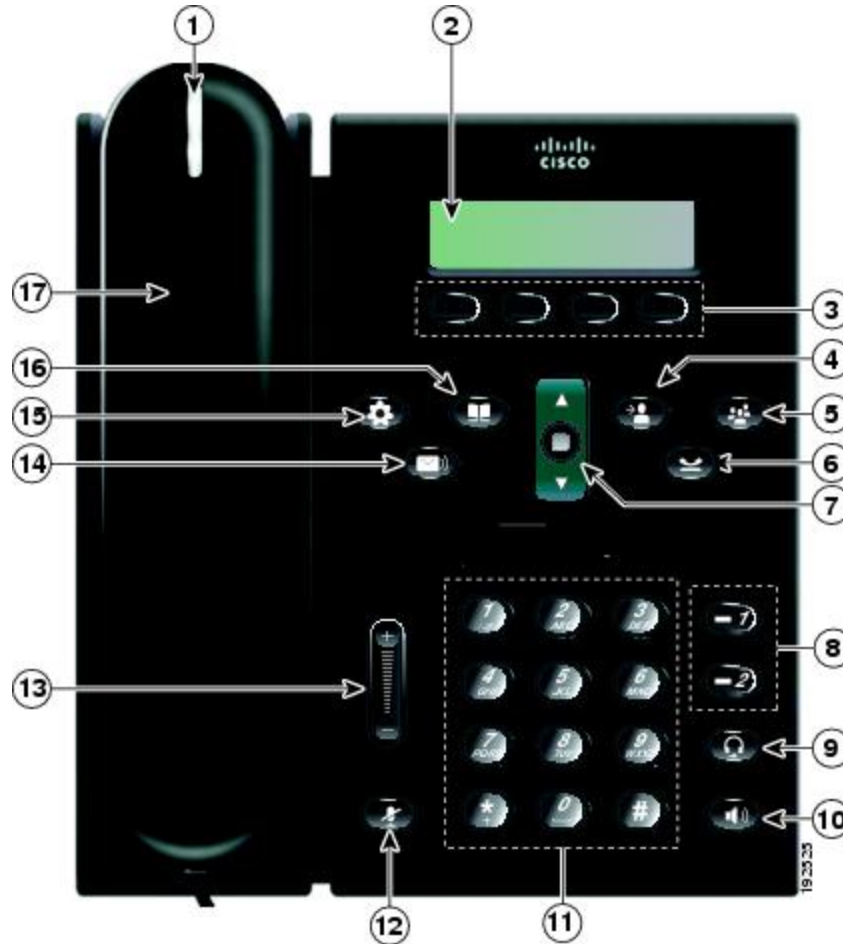
電話機の接続部


電話機を使用するには、企業のIPテレフォニーネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		

ボタンとハードウェア

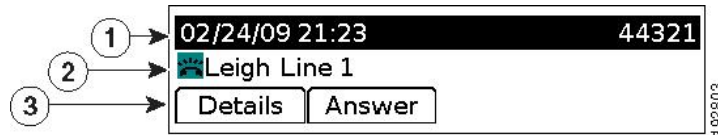


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
4	転送ボタン	コールを転送します。

		
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
7	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）または短縮ダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。 選択ボタン（ナビゲーションバーの中央）を押して、強調表示された項目を選択できます。
8	回線 1 ボタンと回線 2 ボタン  	回線 1 では、プライマリ電話回線を選択します。 システム管理者による電話機の設定に応じて、回線 2 ボタンを押して次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • セカンダリ電話回線 • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） ボタンは次のようにステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線） • 赤色に点滅：リモート回線保留中
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。

10	スピーカフォンボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクroフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイスメールシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーションボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。このメニューを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。このメニューを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	コール中は、アクティブな回線の詳細が表示されます。コール中でない場合は、回線テキストラベルと、発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどの情報が表示されます。
3	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

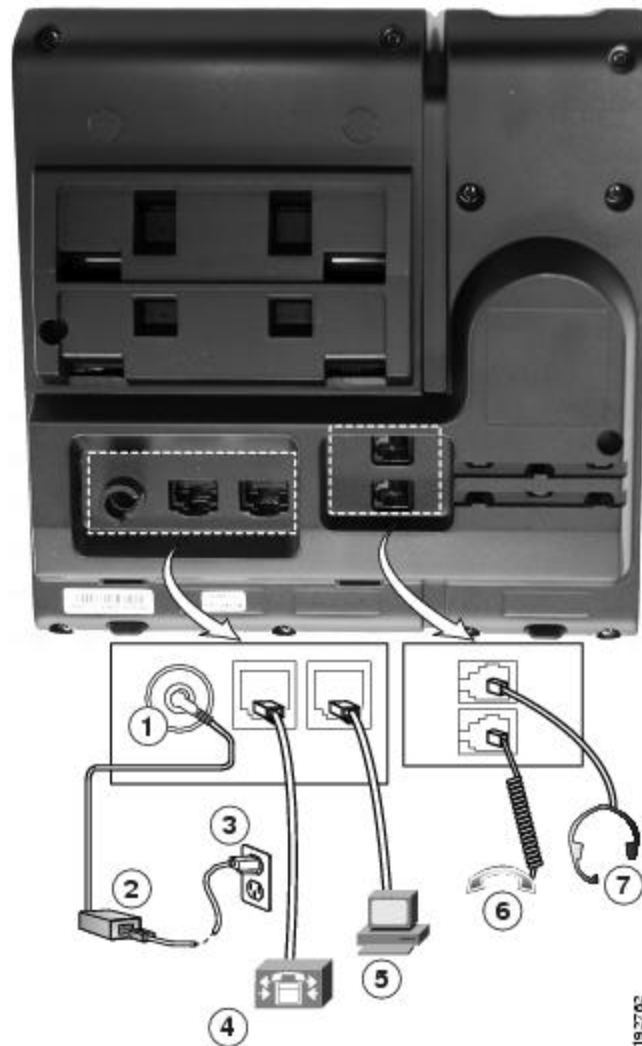
Cisco Unified IP Phone 6941

Cisco Unified IP Phone 6941 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部


電話機を使用するには、企業のIPテレフォニーネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。








1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		

ボタンとハードウェア

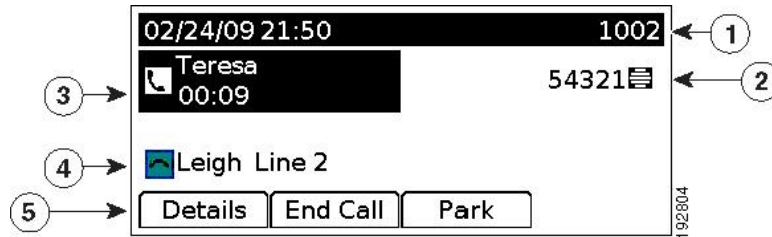


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	プログラマブル機能ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> 電話回線とインターコム回線 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン。回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）

		<ul style="list-style-type: none"> • Web ベースのサービス (たとえば個人アドレス帳ボタン) • コール機能 (たとえばプライバシー ボタン) <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯: アクティブなコール、または双方向のインターコム コール • 緑色に点滅: 保留中のコール • オレンジ色に点灯: プライバシー使用中、一方向のインターコム コール、サイレント有効、またはハント グループにログイン済み • オレンジ色に点滅: 着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯: リモート回線使用中 (共有回線または回線ステータス) • 赤色に点滅: リモート回線保留中
4	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	転送ボタン 	コールを転送します。
6	会議ボタン 	会議コールを開始します。
7	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
8	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	<p>ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴 (上矢印) または短縮ダイヤル (下矢印) からの電話番号が表示されます。</p> <p>選択ボタン (ナビゲーションバーの中央) を押して、強調表示された項目を選択できます。</p>

9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。このメニューを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このメニューを使用して、パーソナル ディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線テキストラベルとアイコン	設定に応じて、電話またはインターコム回線、短縮ダイヤル番号、サービスのテキストラベルとアイコンが表示されます。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話機情報	プライマリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話機情報	セカンダリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
5	ソフトキーラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

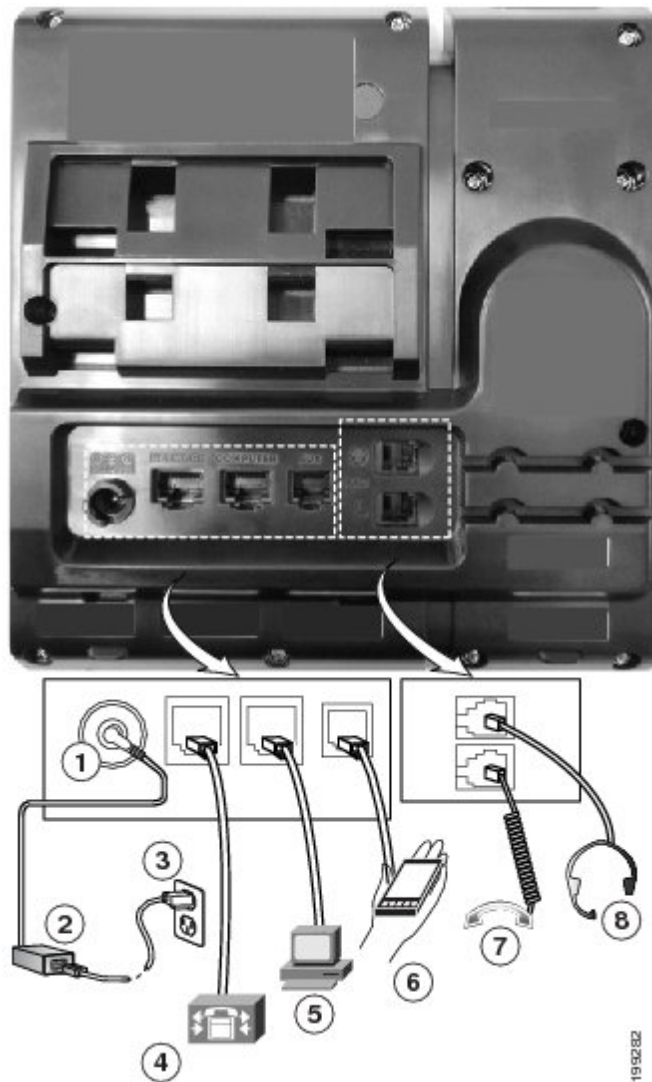
Cisco Unified IP Phone 6945

Cisco Unified IP Phone 6945 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部


電話機を使用するには、企業のIPテレフォニーネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。









1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)

ボタンとハードウェア

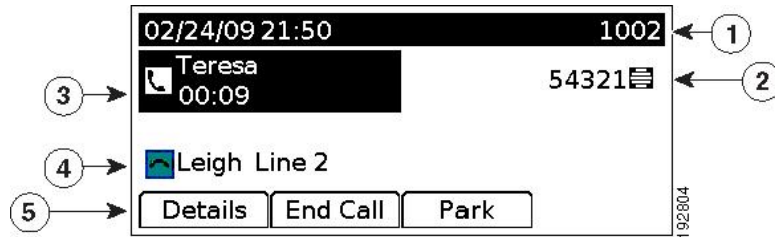


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	プログラマブル機能ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none">電話回線とインターコム回線短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン。回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）

		<ul style="list-style-type: none"> • Web ベースのサービス (たとえば個人アドレス帳ボタン) • コール機能 (たとえばプライバシー ボタン) <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯: アクティブなコール、または双方向のインターコム コール • 緑色に点滅: 保留中のコール • オレンジ色に点灯: プライバシー使用中、一方向のインターコム コール、サイレント有効、またはハントグループにログイン済み • オレンジ色に点滅: 着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯: リモート回線使用中 (共有回線または回線ステータス) • 赤色に点滅: リモート回線保留中
4	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
5	転送ボタン 	コールを転送します。
6	会議ボタン 	会議コールを開始します。
7	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
8	ナビゲーション バーと 選択ボタン 	<p>ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴 (上矢印) または短縮ダイヤル (下矢印) からの電話番号が表示されます。</p> <p>選択ボタン (ナビゲーションバーの中央) を押して、強調表示された項目を選択できます。</p>

9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。このメニューを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このメニューを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線テキストラベルとアイコン	設定に応じて、電話またはインターコム回線、短縮ダイヤル番号、サービスのテキストラベルとアイコンが表示されます。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話機情報	プライマリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話機情報	セカンダリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
5	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

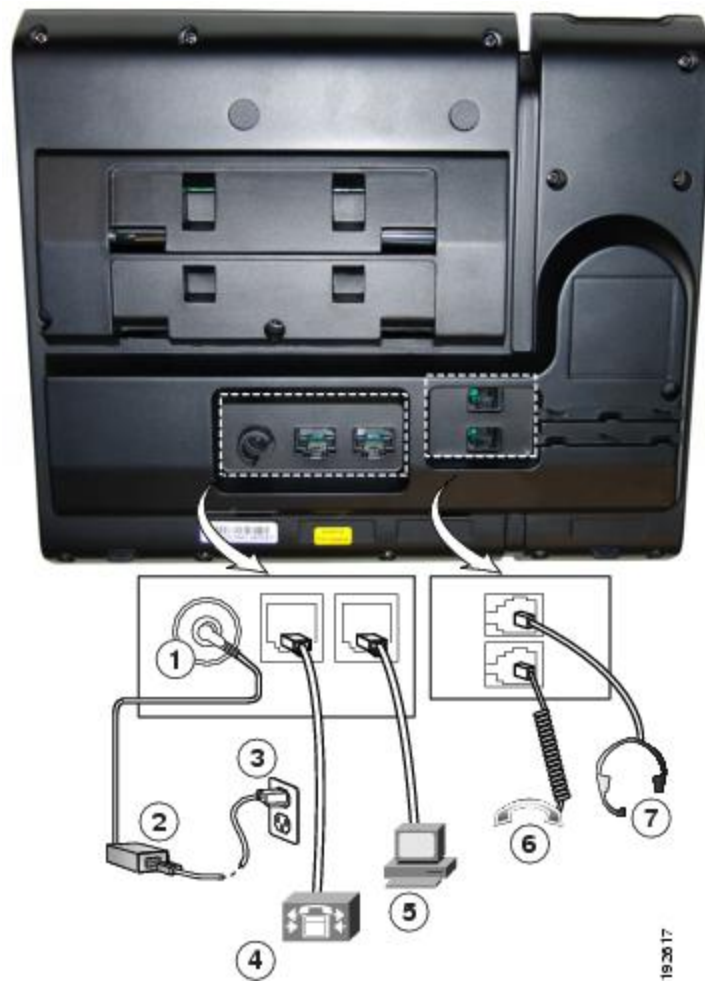
Cisco Unified IP Phone 6961

Cisco Unified IP Phone 6961 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

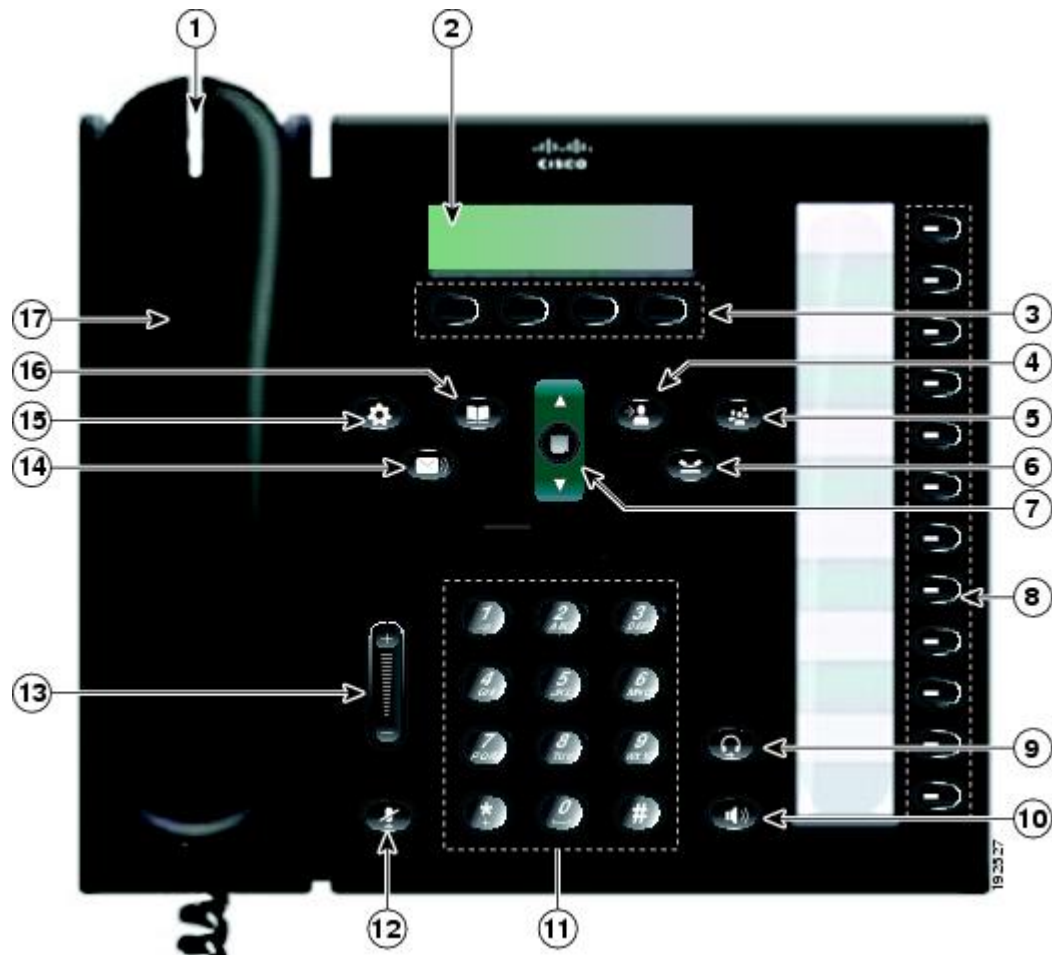
電話機の接続部


電話機を使用するには、企業のIPテレフォニーネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。





1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		

ボタンとハードウェア

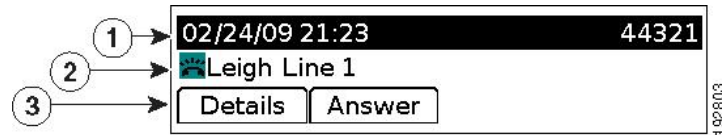


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
4	転送ボタン	コールを転送します。

		
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
7	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）または短縮ダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。 選択ボタンを押して、強調表示された項目を選択できます。
8	プログラマブル機能ボ タン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタンを押して次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン。回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） • コール機能（たとえばプライバシー ボタン） ボタンは次のようにステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコール、または双方向のインターコム コール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコム コール、サイレント有効、またはハント グループにログイン済み • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤色に点滅：リモート回線保留中

9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォンボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイスメッセージシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーションボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。このメニューを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このメニューを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	コール中は、アクティブな回線の詳細が表示されます。コール中でない場合は、回線テキスト ラベルと、発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニュー リストなどの情報が表示されます。
3	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

電話に関する全般情報

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。

フットスタンド



1	高い表示角度にする場合に使用するフットスタンドスロット	2	低い表示角度にする場合に使用するフットスタンドスロット
---	-----------------------------	---	-----------------------------

高い表示角度

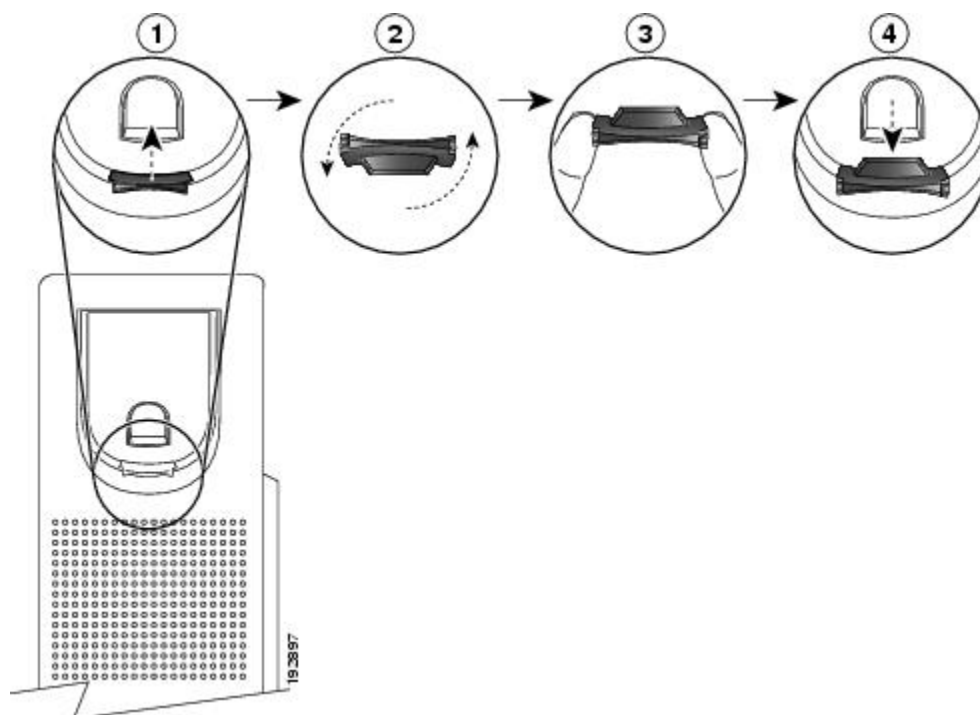


低い表示角度



ハンドセット受け台の調整

システム管理者が電話機を壁に取り付ける場合があります。その場合、ハンドセットが受け台から滑り落ちないように受け台を調整する必要があります。



手順

-
- ステップ 1** ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
 - ステップ 2** タブを 180 度回します。
 - ステップ 3** コーナーのノッチを手前に向けて、2 本の指でタブを持ちます。タブをハンドセット受け台のスロットに合わせます。
 - ステップ 4** タブをスロットに均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。
-

省電力モード

お使いの電話機は Cisco EnergyWise (EW) プログラムをサポートしています。節電のための電話機のスリープ（電源オフ）と復帰（電源オン）の時間はシステム管理者が設定します。

スケジュールされたスリープ時間の 10 分前になると、選択ボタンが点滅し、特定の時間が経過すると電話機の電源がオフになることを知らせるメッセージが表示されます。システム管理者が省電力モードを有効にしている場合、呼出音が再生されます。次のスケジュールで呼出音が再生されます。

- 電源オフの 10 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 7 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。

- 電源オフの 4 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 30 秒前になると、呼出音が 15 回または電話機の電源がオフになるまで再生されます。

スリープの時間になったときに電話機が非アクティブ（アイドル状態）の場合、電話機の電源がオフになります。電話機がアクティブ（コール中など）の場合、電話機が一定時間非アクティブになるのを待ってから電源がオフになります。

電話機がスリープ状態になった後は、選択ボタンを押すと電話機が復帰します。電話機が一定時間非アクティブになっていると、再びスリープ状態になります。設定されている復帰時間になると電話機の電源がオンになります。

復帰時間とスリープ時間は、設定済みの通常の労働日にもリンクされています。要件が変更された場合（勤務時間や労働日に変更された場合など）は、システム管理者に電話機を再設定してもらいます。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



第 2 章

アプリケーション

電話アプリケーションを使用すると、次のいずれかにアクセスできます。


- [サービス, 27 ページ](#)
- [通話履歴, 28 ページ](#)
- [設定, 31 ページ](#)
- [電話の情報, 32 ページ](#)
- [管理者設定, 33 ページ](#)

サービス

電話サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

アクセス サービス

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2** アクセスするサービスを選択します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 3** [選択] ソフトキーを押すか、または[終了] ソフトキーを押してアプリケーション画面に戻ります。
-

通話履歴

通話履歴を使用すると、電話機の最近の 150 件のコールに関する情報を表示できます。コールアイコンが表示され、コールのタイプを示します。

- 着信
- 発信
- 不在着信

コールアイコンとともに、発信者 ID が表示されます。発信者 ID の情報がない場合は電話番号が表示され、電話番号が使用できない場合は「不明」と表示されます。すべての通話履歴項目は 1 つのリストにまとめられ、日時の新しいものから順番に表示されます。同じ発信者 ID および電話番号のコールは、それらが古いものから順番に表示され、関連付けられているコールがない場合のみグループ化されます。各グループについて最後のコールの時間とコール数が表示されます。



- 着信コールと発信コールはそれぞれグループ化されます。
- 不在履歴は別のグループにまとめられます。

最大 150 件のコールが表示されますが、この最大件数は回線 1 つあたりではなく、電話機 1 台あたりの数です。たとえば、電話機に複数の回線がある場合は、すべての回線を合わせて最大 150 件となります。

通話履歴のリストは、すべての回線、回線ごと、または不在履歴でソートできます。また、通話履歴のリストから直接電話番号をダイヤルできます。



通話履歴の表示

手順

- ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 2** [通話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3** [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ 4** [通話履歴] 画面に戻るには  ソフトキーを押します。



コールレコードの詳細の表示

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 コールレコードを選択して [詳細] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ5 通話履歴のリストに戻るには  ソフトキーを押します。


通話履歴のフィルタ

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 選択した回線の不在履歴を並べ替えるには、[不在履歴] ソフトキーを押します。
- ステップ5 通話履歴のリストにすべてのコールを表示するには、[すべてのコール] ソフトキーを押します。
- ステップ6 [通話履歴] 画面に戻るには  ソフトキーを押します。

通話履歴からのダイヤル




手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 通話履歴のリストでダイヤルするコールを選択し、次のいずれかを実行します。

- [コール] ソフトキーを押します。
- 回線キーを押します。
- ハンドセットを取り上げます。
- スピーカフォン ボタンまたはヘッドセット ボタンを押します。


電話番号の編集

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーション バーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 編集するコールを選択します。
- ステップ5 [編集] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ6 カーソルを右へ移動するには [>>] ソフトキーを押し、左へ移動するには [<<] ソフトキーを押します。
- ステップ7 番号を削除するには、 ソフトキーを押します。
- ステップ8 編集した番号をダイヤルするには、[ダイヤル] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ9 通話履歴のリストに戻るには  ソフトキーを押します。


通話履歴のクリア

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーション バーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 [クリア] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ5 [削除] ソフトキーを押して通話履歴のリストを削除するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [通話履歴] 画面に戻ります。

コールレコードの削除

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 削除するコールを選択します。
- ステップ5 [削除] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ6 [削除] ソフトキーを押してコールを削除するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [通話履歴] 画面に戻ります。

設定

次のユーザ設定を指定できます。



- 呼出音
- コントラスト

呼出音

電話機で着信コールと新しいボイスメールメッセージがどのように示されるかをカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調整できます。

呼出音の変更

手順


- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [設定] を選択します (ナビゲーション バーと ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [呼出音] を選択します。
- ステップ4 呼出音を選択します。
- ステップ5 サンプルを再生するには [再生] ソフトキーを押します。
- ステップ6 呼出音を選択するには [設定] ソフトキーを押します。
- ステップ7 [適用] ソフトキーを押して選択を確定するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [呼出音] 画面に戻ります。
- ステップ8 [設定] 画面に戻るには、 ソフトキーを押します。

コントラスト

電話スクリーンのコントラストレベルを調整できます。デフォルト設定のコントラストレベルは50%です。

コントラストの調整

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [設定] を選択します (ナビゲーション バーと ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [コントラスト] を選択します。
- ステップ4 コントラストを上げるには、ナビゲーション バーの上矢印を押します。コントラストを下げるには、下矢印を押します。
- ステップ5 [保存] ソフトキーを押してコントラスト レベルを設定するか、[キャンセル] ソフトキーを押して終了します。


電話の情報

電話の情報では、次に示す電話機のモデル情報を表示できます。

- モデル番号
- IP アドレス
- MAC アドレス
- Unified Video Advantage
- アクティブ ロード
- 非アクティブ ロード
- 前回のアップグレード
- アクティブ サーバ
- スタンバイ サーバ
- バックライト点灯時刻
- バックライト点灯継続時間
- バックライト放置時自動消灯
- バックライト非点灯日

電話の情報の表示

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2** [電話の情報] を選択します (ナビゲーション バーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3** [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] ソフトキーを押します。
-

管理者設定

管理者設定へのアクセスおよび変更方法については、システム管理者にお問い合わせください。



第 3 章

連絡先

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、6945、および 6961 では、次のディレクトリを使用して、社内および個人の連絡先にアクセスできます。

- [社内ディレクトリ](#)、35 ページ
- [パーソナルディレクトリ](#)、37 ページ

社内ディレクトリ

社内ディレクトリには、電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。システム管理者はこのディレクトリを設定および保守します。


次のいずれのときでも、社内ディレクトリから発信できます。

- 別のコールに応答していないとき
- 別のコールに応答しているとき

[回線ステータス](#)、(63 ページ)

連絡先の検索と連絡先へのダイヤル



手順

- ステップ 1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2** [社内ディレクトリ] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3** 同僚を検索するための条件を選択します。
 - 名

- 姓
- 番号


ステップ4 検索条件の情報を入力して[送信]ソフトキーを押し、連絡先を選択します。

ステップ5 次のオプションのいずれかを使用して、連絡先にダイヤルします。

- [ダイヤル]ソフトキーを押しします。
- **選択**ボタンを押しします。
- 連絡先のラベル番号を押しします。
- 回線ボタンを押しします。
- **スピーカフォン** ボタン  を押しします。
- **ヘッドセット** ボタン  を押しします。
- ハンドセットを取り上げます。

コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル

手順

ステップ1 **連絡先**ボタン  を押しします。


ステップ2 [社内ディレクトリ]を選択します。
ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。



ステップ3 同僚を検索するための条件を選択します。

- 名
- 姓
- 番号

ステップ4 情報を入力し、[検索] > [ダイヤル]を選択します。

ステップ5 次のいずれかを選択して、最初のコールを処理します。

- **保留**ボタン  : 最初のコールを保留し、2番目のコールをダイヤルします。

- **転送ボタン** : 最初の通話相手を2番目のコールへ転送し、自分はコールから切断されず。操作を完了するには、ダイヤル後にもう一度**転送**ボタンを押します。
- **会議ボタン** : 自分を含めすべての通話相手との会議コールを開始します。操作を完了するには、ダイヤル後にもう一度**会議**ボタンを押します。
- **[終了] ソフトキー**: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人の連絡先リストが含まれています。ファストダイヤル用に、ファストダイヤルコードを自分のパーソナルディレクトリ エントリへ割り当てられます。

パーソナルディレクトリを設定および保守するには、次の2つの方法があります。

- **電話機**: 電話機を使用して次の操作を実行できます。
 - パーソナルディレクトリの設定と使用
 - ファストダイヤルコードの割り当てと使用
- **[ユーザ オプション] Web ページ**: **[ユーザ オプション] Web ページ**を使用しても、パーソナルディレクトリを設定および使用できます。

[ユーザ オプション](#)


パーソナルディレクトリ オプション

電話機のパーソナルディレクトリ オプションを使用して、次の操作を実行できます。

- ログインおよびログアウト
- エントリの追加
- エントリの検索
- 電話番号のダイヤル
- エントリの削除
- エントリの編集

パーソナルディレクトリへのログイン

手順

-
- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ3 自分のユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力して、[送信] ソフトキーを押します。
 - ステップ4 [終了] ソフトキーを2回選択して、ログアウトします。
ログアウトしない場合は、自動的にログアウトされます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
-

新規エントリの追加

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインします
 - ステップ2 [新規] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
 - ステップ3 名前の情報を入力します。
 - ステップ4 [電話] ソフトキーを押して電話番号を入力します。
9 や 1 などの必要なアクセスコードも含めます。
 - ステップ5 [送信] ソフトキーを押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。
-

エントリの検索

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ3 エントリを検索するための条件を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - 名
 - 姓

ステップ4 検索条件の情報を入力して [送信] ソフトキーを押します。
名前が表示されます。

ステップ5 [選択] ソフトキーを押します。



パーソナルディレクトリからの連絡先へのダイヤル

手順

ステップ1 パーソナルディレクトリにログインし、エントリを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。

ステップ2 ダイヤルする番号を選択します。

ステップ3 次のオプションのいずれかを使用して、連絡先にダイヤルします。

- [ダイヤル] ソフトキーを押します。
- 回線ボタンを押します。
- スピーカフォン ボタン  を押します。
- ヘッドセット ボタン  を押します。
- ハンドセットを取り上げます。

エントリの削除

手順

ステップ1 パーソナルディレクトリにログインし、エントリを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。

ステップ2 [編集] ソフトキーを押します。

ステップ3 [削除] ソフトキーを押します（必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します）。

ステップ4 [OK] ソフトキーを押して削除を確認します。

エントリの編集

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインし、エントリを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ2 [編集] ソフトキーを押して、名前と電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ3 名前と電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ4 [電話] ソフトキーを押して電話番号を変更します。
 - ステップ5 [更新] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコード

電話機を使用して次の操作を実行できます。

- ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て
- ファストダイヤルコードを使用したコールの発信
- ファストダイヤルコードの削除

ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインします（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ2 名前の情報を入力して [送信] ソフトキーを押します。
 - ステップ3 名前を選択して [ファスト] ソフトキーを押します。
 - ステップ4 番号を選択して [選択] ソフトキーを押します。
 - ステップ5 [次へ] ソフトキーを押します。
 - ステップ6 番号に割り当てる新しいファストダイヤルコードに対して [割り当て] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにログインし、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2** ダイヤルするファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3** [ダイヤル] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにログインし、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2** 削除するファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3** [削除] ソフトキーを押します。
-



第 4 章


メッセージ

ボイス メッセージは、ボイスメール システムに保存されます。電話機で使用するボイスメール システムは会社が決めます。

- [ボイスメールの個人設定, 43 ページ](#)
- [ボイス メッセージの確認, 43 ページ](#)
- [ボイス メッセージへのアクセス, 44 ページ](#)

ボイスメールの個人設定


手順

メッセージ ボタン  を押して、音声プロンプトに従います。

ボイス メッセージの確認

手順

次のいずれかの方法で、ボイス メッセージが届いていることを確認します。

- ハンドセットのビジュアル メッセージ インジケータ ランプを確認します。
[ユーザ オプション] Web ページを使用して、ビジュアル メッセージ インジケータ ランプを設定できます。
- 次を確認します。
 - (Cisco Unified IP Phone 6941 および 6945 のみ) メッセージ受信アイコン 
 - (Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 のみ) テキスト メッセージ

- コールを発信する際、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえるか確認します。

断続トーンは回線によって異なり、受信メッセージがある回線を使用しているときだけ聞こえます。


[ユーザ オプション] Web ページを使用して、オーディオメッセージインジケータを設定できます。

[ボイスメッセージインジケータ設定の変更, \(82 ページ\)](#)

[オーディオボイスメッセージインジケータ設定の変更, \(83 ページ\)](#)

ボイスメッセージへのアクセス

ボイスメッセージを聞く方法は2つあります。

- すべての回線に残されているボイスメッセージを聞くには、**メッセージボタン**  を押します。
- 特定の回線のボイスメッセージのみを聞くには、回線ボタンを押してから**メッセージボタン**を押します。



第 5 章

コール機能

- [機能ボタンとソフトキー, 46 ページ](#)
- [エージェント グリーティング, 48 ページ](#)
- [応答, 48 ページ](#)
- [自動応答, 48 ページ](#)
- [折返し, 49 ページ](#)
- [不在転送, 49 ページ](#)
- [コール パーク, 50 ページ](#)
- [コール ピックアップ, 52 ページ](#)
- [コール待機, 54 ページ](#)
- [C 割込, 54 ページ](#)
- [クラシック呼出音, 55 ページ](#)
- [コード, 55 ページ](#)
- [会議, 56 ページ](#)
- [即転送, 58 ページ](#)
- [サイレント, 58 ページ](#)
- [エクステンション モビリティ, 59 ページ](#)
- [ファストダイヤル, 59 ページ](#)
- [保留, 60 ページ](#)
- [保留復帰, 61 ページ](#)
- [ハントグループ, 61 ページ](#)
- [インターコム, 62 ページ](#)

- [回線ステータス, 63 ページ](#)
- [迷惑呼 ID, 64 ページ](#)
- [ミーティング, 64 ページ](#)
- [モバイル コネクト, 65 ページ](#)
- [コールのモニタリングと録音, 66 ページ](#)
- [MLPP \(Multilevel Precedence and Preemption\) , 66 ページ](#)
- [回線ごとの複数のコール, 68 ページ](#)
- [ミュート, 71 ページ](#)
- [オンフック ダイヤル, 72 ページ](#)
- [プラス ダイヤル, 72 ページ](#)
- [プライバシー, 72 ページ](#)
- [品質レポート ツール, 73 ページ](#)
- [リダイヤル, 73 ページ](#)
- [共有回線, 74 ページ](#)
- [短縮ダイヤル, 74 ページ](#)
- [転送, 75 ページ](#)
- [WebDialer, 77 ページ](#)

機能ボタンとソフトキー

システム管理者による電話機の設定によっては、このガイドに記載されている機能の一部が使用できない可能性があります。

次の表に、専用機能ボタンで使用できる機能の一部、プログラマブル機能ボタンまたはソフトキーにシステム管理者が設定する機能の一部を示します。

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
折返し		X	X
不在転送		X	X
コール パーク		X	X
コール パーク回線ステータス		X	
コール ピックアップ		X	X

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
コール ピックアップ回線ステータス		X	
会議	X		X
ダイレクト コール パーク		X	
即転送			X
Do Not Disturb (DND; サイレント)		X	
グループ ピックアップ		X	X
保留	X		
ハント グループ		X	
インターコム		X	
Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼)		X	
ミーティング		X	X
モバイル コネクト		X	
ミュート	X		
他グループ ピックアップ		X	X
プライバシー		X	
Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポートツール)		X	
リダイヤル		X	X
短縮ダイヤル		X	X
短縮ダイヤル回線ステータス		X	
転送	X		X

エージェントグリーティング

エージェントグリーティング機能を使用すると、エージェントはあいさつメッセージを作成および更新できます。あいさつメッセージはコール（顧客からかかってきたコールなど）の開始時に再生され、その後でエージェントは発信者と会話を始めます。エージェントは、必要に応じていくつかのあいさつメッセージを事前に録音できます。

顧客からコールがあったときには、顧客とエージェントの両方に対して、事前に録音されたメッセージが再生されます。エージェントは、メッセージが終わるまでミュートのままにすることも、メッセージ再生中にコールに回答することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

応答

応答機能では、電話機のすべての回線アピランズで使用できる最も古いコールに回答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいて応答ボタンを設定します。この機能は、通常は複数の回線を使用するユーザ用に設定されます。

コールが着信すると、コールトーストと呼ばれる通知ウィンドウが電話スクリーンに表示されます。コールトーストは、事前に設定された時間の間表示されたままになっています。


着信コールが別の電話から転送されている場合は、コールが転送されていることを示す追加の情報が表示されることがあります。追加で表示される情報の量はシステム管理者が制御します。追加の情報で、コールを転送したユーザおよび発信者情報を知ることができます。

自動応答

自動応答では、呼出音が1回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに回答します。


システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットを使用する自動応答を設定します。

ヘッドセットでの自動応答

電話機がアイドル状態のときに、ヘッドセットボタン  を点灯させておきます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに回答する必要があります。

ヘッドセットボタンを点灯させておくには、（ヘッドセットボタンの代わりに）回線ボタンまたはソフトキーを使用して、オフフックにしてからオンフックにし、コールを発信して終了します。

スピーカフォンでの自動応答

ハンドセットを受け台に置いたまま、ヘッドセット ボタン  を消灯させておきます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

折返し

折返しを使用すると、話中または対応不可能な通話相手が対応可能になったときに、電話機でオーディオおよびビジュアル通知を受信できます。

折返し通知の設定

手順

-
- ステップ 1** ビジー トーンまたは呼出音が聞こえている間に、[折返し] ソフトキーを押します。電話機に確認画面が表示されます。
 - ステップ 2** 必要な場合は [終了] ソフトキーを押してメイン画面に戻ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。
 - ステップ 3** 必要に応じて、[ダイヤル] ソフトキーを押して再びコールを発信します。
-

不在転送

不在転送を使用すると、電話機にかかってきたコールを別の番号に自動的に転送できます。

プライマリ回線の場合は、電話機に直接、不在転送を設定できます。その他のすべての回線の場合、またはリモートで不在転送にアクセスするには、[ユーザ オプション] Web ページに移動します。

システム管理者が電話機に設定できる不在転送機能には、次の 2 種類があります。

- 無条件の不在転送（すべてのコールの転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きの不在転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。[ユーザ オプション] Web ページからのみアクセスできます。

電話機からコールを転送する場合は、次の手順に従います。


- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードを入力します。

- 不在転送は、電話回線ごとに設定します。不在転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、次のようなその他の不在転送オプションを設定できます。
 - 転送先の電話番号から自分の電話機へコールが発信された場合に、コールを自動的に転送するのではなく、呼出音を鳴らす。
 - 転送ループが生じたり、転送チェーンで最大リンク数を超えないようにする。

[不在転送の設定](#)、(82 ページ)

コールの転送

手順

-
- ステップ 1** [不在] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** 転送先の電話番号を入力します。
- ボイスメール システムの設定によっては、**メッセージ** ボタン  を押して、すべてのコールをボイスメールに自動的に転送できます。
- この機能が有効な場合は、スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 3** 不在転送をキャンセルするには、[不在オフ] を押します。
- ステップ 4** 他の回線で不在転送を行うには、[ユーザ オプション] Web ページに移動します。
-

コール パーク

コールパークを使用すると、電話機で受信コールをパーク（一時保持）し、その後、別の電話機（たとえば、同僚のデスクや会議室の電話機）からコールを取得できます。

コールをパークするには、次の 3 つの方法があります。

- **パーク**：電話機で応答したアクティブコールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。
 - **手動ダイレクトコールパーク**：システム管理者が設定したダイレクトコール番号にアクティブコールを転送して、そのアクティブコールをパークできます。
- パーク取得用のプレフィクス番号（システム管理者から取得）をダイヤルしてから、コールパーク用のダイレクトコール番号をダイヤルして、別の電話機でコールを取得します。
- **処理されたダイレクトコールパーク**：システム管理者が短縮ダイヤル回線として設定した機能ボタンを使用して、アクティブコールをパークできます。ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。

システム管理者は、電話機に手動ダイレクトコールパークまたはパーク機能を設定します。両方は設定できません。

[回線ステータス](#)、(63 ページ)


コールのパーク

手順

- ステップ 1 コール中に [パーク] ソフトキーを押します。
コールに割り当てられたコールパーク番号が電話機に表示されます。
- ステップ 2 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号を確認します。
この番号を使用してコールを取得します。
- ステップ 3 電話を切ります。
パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。
- ステップ 4 ネットワーク内の別の Cisco Unified IP Phone で、コールパーク番号を入力してコールを取得します。

手動ダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

- ステップ 1 コール中に転送ボタン  を押します。
- ステップ 2 コールをパークするダイレクトコール番号を入力します。
- ステップ 3 もう一度転送ボタンを押してコールのパークを終了してから切断します。
パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。
- ステップ 4 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a) パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。

例:

たとえば、パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクトコールの番号が「1234」の場合は、991234 を入力します。

処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

-
- ステップ1** コール中に、**処理されたダイレクトコールパーク** ボタンを押して、アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示します。
- ステップ2** 処理されたダイレクトコールパーク番号からパークされたコールを取得するには、点滅している**処理されたダイレクトコールパーク** ボタンを押します。
管理者が復帰ディレトリ番号を設定していない場合、パークされたコールはコールをパークした電話機に復帰します。
-

コールピックアップ

コールピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトして、そのコールに応答できます。

コールピックアップは、同僚とコール処理タスクを共有している場合に使用できます。

コールをピックアップするには、次の3つの方法があります。

- **ピックアップ**：自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。
ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- **グループピックアップ**：次の方法で、自分のコールピックアップグループ外にある電話機でコールに応答できます。
 - グループピックアップ番号（システム管理者から取得）を使用します。
 - 鳴っている電話機の番号をダイヤルします。
- **他グループピックアップ**：自分のコールピックアップグループ内、または関連付け先コールピックアップグループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。

システム管理者はコールピックアップグループを設定し、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいてコールピックアップソフトキーを設定します。

システム管理者が短縮ダイヤルボタンに回線ステータスインジケータを設定した場合は、回線ステータスインジケータを使用して、呼び出し中のコールを監視およびピックアップできます。回線ステータスインジケータによって、短縮ダイヤルボタンと関連付けられた回線のステータス（アイドル状態、使用中、サイレント状態、または呼び出し中）を確認できます。

[回線ステータス、\(63 ページ\)](#)

ピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [ピック] ソフトキーを押して、自分のピックアップグループ内で呼び出し中のコールを自分の電話機に転送します。
回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [ピック] を押します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続します。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

グループピックアップとグループピックアップ番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [Gピック] ソフトキーを押して、自分のピックアップグループ外の電話機でコールに応答します。
回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [Gピック] を押します。
- ステップ 2** グループピックアップ番号を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

グループピックアップと電話番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [Gピック] ソフトキーを押します。
回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [Gピック] を押します。
- ステップ 2** ピックアップしたいコールの電話回線の番号を入力します。たとえば、コールが回線 12345 で呼び出し中の場合は、12345 を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。

他グループピックアップを使用したコールの応答

手順

- ステップ1** [他 Grp] ソフトキーを押して、自分のピックアップグループ内または関連付けられているグループ内のコールを、自分の電話機に転送します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ2** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

コール待機

コール待機機能は、あるコールで会話しているときに新しいコールが到着したことを次の方法で通知します。

- コール待機トーン（ビープ音1回）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン

コール待機通知への応答

操作を行う前に

この機能を使用するためには、システム管理者が事前に複数の回線を電話機に設定する必要があります。

手順

呼び出し中のコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。
電話機によって元のコールが自動的に保留され、呼び出し中のコールが接続されます。

C 割込

C 割込機能を使用すると、自分自身を共有回線上のコールに追加して標準的な（アドホック）会議を行えます。

共有回線の会議への参加

手順

使用中の共有回線の回線ボタンを押します。
プライバシーが有効になっている場合は、自分自身を共有回線に追加することはできません。

クラシック呼出音

クラシック呼出音機能は、29種類の呼出音をサポートします。2種類の呼出音が電話機のファームウェアに組み込まれていて、27種類を Cisco Unified Communications Manager からダウンロードすることができます。この機能により、他の Cisco Unified IP Phone でも同じ呼出音を使用できます。

コード

コードを使用すると、課金またはトラッキングコードを使用してコールを発信できます。電話機では、次の2種類のコード（管理者から取得）がサポートされています。

- Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) では、コードを入力してコールと特定のクライアントとの関連付けを指定する必要があります。管理者は、コールアカウンティングおよび課金のために、クライアント識別コードを顧客、学生、またはその他の集団に割り当てられます。
- Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード) を使用すれば、コールアクセスとコールアカウンティングを管理できます。強制承認コード機能では、コールが接続される前に、ユーザが有効な承認コードを入力する必要があります。

クライアント識別コードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1** 電話番号をダイヤルします。
- ステップ 2** トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) を入力します。
-

強制承認コードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 トーンが鳴ったら、Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード) を入力します。
-

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。

あるコールで会話をしているとき、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、それらの通話相手をコールに追加します。

複数の電話回線がある場合は、会議を使用して、回線をまたいで2つのコールを接続できます。たとえば、回線1に1つのコールがあり、回線2にも1つのコールがある場合、それらのコールを1つの会議にまとめることができます。


会議手続きを完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押すと、その手続きをキャンセルできます。あるいは、[切替] ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話できます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。

すべての参加者が電話を切ると、会議は終了します。

会議への第三者の追加

手順


-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 **会議ボタン**  を押します。
 - ステップ3 追加する通話相手の電話番号を入力します（または、短縮ダイヤル ボタンを押します）。
 - ステップ4 相手が応答するのを待ちます（または呼び出し中にステップ5に進みます）。
 - ステップ5 もう一度**会議ボタン**を押します。
会議が開始します。
 - ステップ6 (オプション) 必要に応じてこの手順を繰り返し、参加者をさらに追加します。
-

複数のコールを接続して会議を実行

操作を行う前に

この操作には、複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ 1** 接続しているコールが2つあり、そのうち1つのコールがアクティブである（保留されていない）ことを確認します。
 - ステップ 2** 会議ボタン  を押します。
 - ステップ 3** もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。
会議が開始します（アクティブ コールがある回線上で会議が確立されます）。
-

参加者を追加する前のコールの切り替え

手順

新しい会議参加者にコールした後、その参加者を会議に追加する前に[切替]ソフトキーを押して、2つのコール間で切り替えを行います。
これによって、コールを接続して会議を実行する前に、各コールで単独の通話相手または複数の通話相手に個別に打診できます。

会議参加者の表示

手順

会議中に、[詳細]ソフトキーを押すと、会議に参加した最近の16人の参加者が表示されます。

会議参加者の削除

手順

-
- ステップ 1** 会議中に [詳細] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。
 - ステップ 2** 削除する参加者を強調表示してから、[削除] ソフトキーを押します。
-

即転送

即転送を使用すると、アクティブなコールまたは呼び出し中のコールを、自分のボイスメールシステムや所定の電話番号（システム管理者が設定）に送信できます。

コールの転送

手順

[即転送] ソフトキーを押すと、アクティブなコール、呼び出し中のコール、または保留中のコールを自分のボイスメールシステムやシステム管理者が設定した所定の電話番号に送信できます。

サイレント

Do Not Disturb (DND; サイレント) を使用すると、電話機の呼出音や、コール着信時の呼出音と他のオーディオ通知やビジュアル通知をオフにすることができます。

呼出音と通知をオフにすると、コールは直接ボイスメールシステムに送信されます。

システム管理者が電話機の回線ボタンをサイレント用として設定しますが、ユーザは [ユーザ オプション] Web ページでサイレントのオプションを変更できます。

サイレントは、他のコール機能と一緒に使用できます。

- サイレントと不在転送の両方が有効な場合、コールはビジュアル通知またはオーディオ通知なしで自動的に転送されます。
- サイレントはインターコム コールまたは非インターコム優先コールには影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効な場合は、インターコム コールのみが自動的に応答されます。

ユーザ オプション

サイレントを有効にする

手順



-
- ステップ 1** サイレント ボタンを押して、サイレントをオンにします。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。
 - ステップ 2** サイレントをオフにするには、もう一度ボタンを押します。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。

エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を自分用として設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。EM はシステム管理者が設定します。

エクステンション モビリティの有効化

手順

- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 2 [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ 3 ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。
- ステップ 4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- ステップ 5 ログアウトするには、アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 6 [サービス] を選択します。
- ステップ 7 [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ 8 ログアウトするようプロンプトが表示されたら、[はい] ソフトキーを押します。

ファスト ダイヤル


ファスト ダイヤルを使用すると、電話機のファスト ダイヤル サービスから電話番号をダイヤルできます。電話機でファスト ダイヤルを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページでファスト ダイヤルを設定する必要があります。

[ファスト ダイヤル](#), (91 ページ)

ファスト ダイヤルを使用したコールの発信

(電話機でファスト ダイヤルを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページでファスト ダイヤルを設定する必要があります)

手順



-
- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ4 ファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル] ソフトキーを押します。
-

保留

保留を使用すると、アクティブなコールを保留状態にできます。

コールの保留

手順

-
- ステップ1 コールを保留にするには、保留ボタン  を押します。
保留アイコン  が表示され、回線ボタンが緑色で点滅します。
 - ステップ2 コールを再開するには、[復帰] ソフトキーまたは緑色で点滅する回線ボタンを押します。
-

保留中のコールとアクティブコールの切り替え

手順

電話機が複数の回線をサポートしている場合は、回線ボタンを使用して、保留中のコールとアクティブなコールを切り替えます。

例:

たとえば、回線1に保留されたコールがあり、回線2にアクティブなコールがある場合は、回線1ボタンを押すと回線1のコールがアクティブになり（保留解除、再開）、回線2のコールは自動的に保留にされます。


新しいコールへの応答

電話機が複数の回線をサポートしており、コール中に新しいコールの呼び出しがあった場合、新しいコールに応答すると、最初のコールは自動的に保留になります。

手順

新しいコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答] ソフトキーを押します。

共有回線でのリモート回線の保留

赤色に点滅する回線ボタンと保留アイコン  を確認します。これらのインジケータが表示されている場合、共有回線のコールは他のユーザによってリモートで保留にされています。

保留復帰

保留復帰では、コールが保留中のままになっていることを通知します。

保留復帰通知は、新規コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 1 回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージ インジケータ
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

保留したコールの再開

手順

保留を解除してコールを再開するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答] ソフトキーを押します。

ハント グループ

ハントグループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。システム管理者はハントグループに一連の電話番号を設定します。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

ハントグループのメンバーは、ハントグループにログインするとコールを受信できます。また、グループからログアウトすると呼出音が鳴らなくなります。

ハントグループへのログイン

手順

-
- ステップ1** ログインするには**ハントグループ** ボタンを押します。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。
- ステップ2** ログアウトするにはもう一度ボタンを押します。
ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。
-

インターコム

インターコムでは、専用インターコム回線を使用して、一方向のコールを発信、受信できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパー）になって自動応答し、受信者のスピーカフォンから（ヘッドセットまたはハンドセットを使用中の場合はそのいずれかから）メッセージをブロードキャストします。

インターコム コールの受信後、受信者は双方向オーディオ（接続）を開始して、コールを継続できます。

インターコム コールの発信

手順

-
- ステップ1** **インターコム** ボタンを押します。
電話機がインターコムコードを自動ダイヤルする場合は、アラートトーンが聞こえた後に話し始めます。それ以外の場合は、ステップ2に進みます。
- ステップ2** インターコム コードを入力し、アラート トーンが聞こえたら話し始めます。
-

インターコム コールの受信

インターコム コールを受信すると、インターコムのアラートトーンが聞こえ、電話機がコールに自動応答します。現在行っている通話は同時に継続されますが、インターコムの発信者には受信者の声は聞こえません。

手順

インターコムの発信者と会話するには、アクティブな**インターコム** ボタンを押します。





回線ステータス

回線ステータスインジケータによって、短縮ダイヤルボタンに割り当てられた電話回線の状態を確認できます。

電話機の回線ステータス インジケータはシステム管理者が設定します。

回線ステータス インジケータ

回線ステータス インジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドル状態です。
	回線は Do Not Disturb (DND; サイレント) 状態です。
	回線は呼び出し中です (コール ピックアップ専用の状態)。

回線ステータスインジケータは、システム管理者が短縮ダイヤルボタンに設定できます。次の機能を持たせて使用できます。

- **短縮ダイヤル**：短縮ダイヤルボタンに設定された番号のステータスを監視（またその番号にダイヤル）できます。
- **コール ピックアップ**：短縮ダイヤル ボタンの回線ステータスを監視（またその回線で呼び出し中のコールをピックアップ）できます。

システム管理者は、監視している回線でコールが呼び出し中の場合に、電話機がオーディオアラートを鳴らすようにも設定できます。

[短縮ダイヤル](#), (74 ページ)

[コール パーク](#), (50 ページ)

[コール ピックアップ](#), (52 ページ)

迷惑呼 ID

Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) では、アクティブ コールを不審なコールとして識別し、一連の自動化されたトラッキングおよび通知メッセージを開始できます。

不審なコールのトレース

手順

迷惑呼の発信者 ID ボタンを押して、サイレント通知メッセージをシステム管理者に送信します。

サイレント通知メッセージが送信されると、電話機ではビジュアル通知とオーディオ通知の両方が出ます。

ミー ト ミー

ミー ト ミーを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号へコールして会議を開催したり、会議に参加したりできます。

会議は、ホストが接続すると開始します。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミー ト ミー 会議の開催

手順

-
- ステップ 1** システム管理者からミー ト ミー電話番号を取得します。
 - ステップ 2** 参加者にミー ト ミー電話番号を配布します。
 - ステップ 3** 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを受信し、[ミー ト ミー] ソフトキーを押します。
 - ステップ 4** ミー ト ミー電話番号をダイヤルします。
-

ミーティングへの参加

手順

会議ホストから取得したミーティング電話番号をダイヤルします。
ビジー トーンが聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。

モバイルコネク

モバイルコネクでは、携帯電話を使用して、デスクの電話番号にかかってきたコールを処理できます。

モバイルコネクを設定するには、[ユーザ オプション] Web ページを使用してリモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするアクセス リストを作成します。

モバイルコネクを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先が同時にコールを受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

[アクセス リストの作成](#)、(96 ページ)

[新規リモート接続先の追加](#)、(94 ページ)

モバイルコネクの有効化

手順

-
- ステップ 1** モビリティ ボタンを押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ 2** 選択ボタンを押してステータスを変更します。
 - ステップ 3** [終了] ソフトキーを押します。
-

[新規リモート接続先の追加](#)、(94 ページ)

コールをデスクの電話機から携帯電話に切り替え

手順

-
- ステップ1 モビリティ ボタンを押します。
 - ステップ2 [携帯電話へコールを送信] を選択します。
 - ステップ3 進行中のコールに携帯電話で応答します。
デスクの電話機の回線ボタンが赤に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
-

コールを携帯電話からデスクの電話機に切り替え

手順

-
- ステップ1 デスクの電話機の回線を選択します。
 - ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ3 5～10秒以内にデスクの電話機の[復帰] ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。
-

コールのモニタリングと録音

モニタリングと録音機能を使用すると、必要に応じてコールをモニタリングおよび録音できます。この機能を有効にするのはシステム管理者です。全コールの自動録音、またはコールごとの録音を設定できます。

ユーザは、コールのモニタリングおよび録音中、通知トーンを聞くことができます。デフォルトでは、コールのモニタリングと録音（設定されている場合）を実行しているユーザに、通知トーンは聞こえません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

MLPP (Multilevel Precedence and Preemption)

(SCCP のみ)

軍隊や行政機関のオフィスなどの特別な環境では、緊急のコールや重要なコールの発信および受信が必要になることがあります。このような特別なコールの処理が必要な場合は、システム管理者が電話機に MLPP (Multilevel Precedence and Preemption) を追加することができます。

次の用語を覚えておいてください。









- **Precedence** とは、コールに関連付けられた優先度を示します。
- **Preemption** とは、優先度の低い既存のコールを終了させて、電話機に送信された優先度の高いコールを受け付ける処理です。

発信コールについてプライオリティ（優先）レベルを選択する場合は、対応するコールの優先度番号のリストについてシステム管理者に問い合わせてください。

プライオリティ（優先）コールを発信する場合は、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力し、その後に電話番号を入力します。

通常より速い特殊な呼出音または特殊なコール待機音が聞こえる場合は、プライオリティ（優先）コールが着信しています。電話スクリーンに表示される MLPP アイコンは、コールの優先度レベルを示します。

コールの優先度レベルを参照したい場合は、電話スクリーンの MLPP アイコンを探してください。

MLPP アイコン	優先度レベル
	最も高い優先度の（フラッシュオーバーライドまたはエクゼクティブオーバーライド）コール
	
	高い優先度の（フラッシュ）コール
	
	中程度の優先度の（即時）コール
	
	プライオリティ（優先）コール
	

白または黒の背景色の MLPP アイコンは、コールが選択されているかどうかを示します。

優先度が高いコールは、コールリストの一番上に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合は、コールのプライオリティレベルは通常（標準）です。

優先度が高いコールを受け付ける場合は、通常と同じようにコールに応答します。必要な場合は、アクティブなコールを先に終了します。

コールの最中に継続的にトーンが聞こえる場合は、現在のコールよりも優先する必要があるコールが着信しています。優先度の高いコールを受信するために、直ちに通話を終了してください。

MLPP を使用したコールを発信または受信した場合は、通常のトーンとは異なる、特殊な呼出音およびコール待機音が聞こえます。

無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声案内によってエラーが警告されます。

次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。

- コールの保留
- コールの転送
- 3 者会議へのコールの追加
- ピックアップを使用したコールの応答

回線ごとの複数のコール

各回線は複数のコールをサポートすることができます。デフォルトでは、電話機は回線ごとに 2 つのアクティブなコールをサポートします。回線ごとのアクティブなコールの最大数は 6 です。システム管理者はニーズに応じてこの数を調整することができます（ただし 6 コールまで）。一度に接続できるコールは 1 つだけであり、他のコールは自動的に保留になります。

同じ回線上の 2 番目のコールへの応答

手順

同じ回線上の 2 番目のコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。アクティブなコールおよび回線上のコールの数に応じて、電話スクリーンのテキストが変化します。

アクティブなコールがある場合はそのコールが保留になり、2 番目のコールに応答できます。

同じ回線上のコールの切り替え

手順

-
- ステップ1 同じ回線上の2つコール間で切り替えるには、回線ボタンを押します。
 - ステップ2 回線上に3つ以上のコールがある場合は、コールリストからコールを選択してコールを再開できます。
-

異なる複数の回線上のコールの切り替え

手順

-
- ステップ1 切り替え先のコールの回線ボタンを押します。
 - ステップ2 その回線上で1つのコールが保留になっている場合は、そのコールが自動的に再開されます。複数のコールが保留になっている場合は、コールを選択するように要求されます。適切なコールを強調表示し、[復帰] ソフトキーを押します。
-

複数のコールがある回線上でのコールの終了

コールが完了した後で、回線上に引き続き複数のコールがある場合、電話スクリーン回線上の他のコールのリストが表示されます。

最大発信コール数


1つの回線の最大コール数まで後1つになると、自動的に発信コールが次の利用可能な回線に切り替えられます。たとえば、最大コール数が6に設定されている場合、6番目の発信コールは、自動的に次の利用可能な回線に切り替えられます。

同じ回線上の2つのコールを使用して会議を実行

手順


-
- ステップ1 同じ回線上に2つの接続されたコールがあるときに、1つのコールを選択してアクティブなコールにします。

もう一つのコールは保留状態になります。

- ステップ 2** **会議** ボタン  を押します。
- ステップ 3** 参加者の電話番号を入力します。
回線の最大コール数に達したときに、**会議** ボタンを押すと、回線上のコールのリストからコールを選択することができます。いずれかのコールを選択するか、別の回線ボタンを押して、コールリストからコールを選択して会議を実行します。
- ステップ 4** コールが接続されるまで待ちます。
新しい会議参加者にコールした後、その参加者を会議に追加する前に[切替]ソフトキーを押して、2つのコール間で切り替えることができます。これによって、会議の実行を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。
- ステップ 5** **会議** ボタンまたは [会議] ソフトキーを押して、参加者をコールに追加します。
会議が開始します。
- ステップ 6** (オプション) 参加者を追加するには、この操作を繰り返します。

同じ回線上の2つのコールの転送

手順

- ステップ 1** 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
- ステップ 2** **転送** ボタン  を押します。
- ステップ 3** 転送先の電話番号を入力します（または、短縮ダイヤル ボタンを押します）。
回線の最大コール数に達したときに、**転送** ボタンを押すと、回線上のコールのリストからコールを選択することができます。いずれかのコールを選択するか、別の回線ボタンを押して、コールリストからコールを転送するコールを選択します。
- ステップ 4** 相手が応答するのを待ちます（またはコールの呼び出し中にステップ 5 へ進みます）。
- ステップ 5** もう一度**転送** ボタンを押します。
転送が完了します。
- [切替] ソフトキーを押して2つのコールを切り替えられます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

複数の着信コール

- 最初のコールの呼び出し中に回線上で2番目の着信コールがあった場合、電話スクリーンのテキストが着信コールの総数に合わせて変化します。
- さらに着信コールがあった場合は、[応答] ソフトキーを押すと全回線のすべてのコールが表示されます。

- 同じ回線上で着信コールがあると、そのコールがコールリストに追加されます。回線ボタンを押すと、その回線上のコールのリストを表示することができます。回線情報はCisco Unified IP Phone 6941 および Cisco Unified IP Phone 6945 では表示されないことに注意してください。
- 2つのコールが同時に電話機に着信した場合は、次の操作を実行します。
 - [応答] ソフトキーまたは回線ボタンを押してコールに応答します。
 - 別の回線の回線ボタンを押して、その回線上の着信コールのリストを表示します。

共有回線

- 共有回線上に2つまたは3つのリモートコールがある場合、回線上のコールの数およびコールの状態は発信者IDでわかります。
- その回線上で1つ以上のコールが保留になっている場合は、回線ボタンが赤色に点滅します。
- すべてのコールが使用中の場合は、回線ボタンが赤色に点灯します。

制限


SCCP および SIP の両方に対して 6/6 を超える最大コール/ビジー トリガーの設定は許可されません。6/6 を超えるすべての設定は公式にはサポートされません。SCCP の場合、回線ごとに複数のコールをサポートするには、Cisco Unified CM 8.6 以上にアップグレードする必要があります。

ミュート

ミュートを使用すると、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

手順

-
- ステップ 1** ミュート ボタン  を押して、ミュートをオンにします。ビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 2** ミュートをオフにするには、もう一度ミュート ボタンを押します。
-

オンフックダイヤル

オンフックダイヤルを使用すると、ダイヤルトーンを受信する前に電話番号を入力し、オフフックにすることでコールを接続できます。

オンフックでの電話番号のダイヤル

手順

ステップ1 電話番号を入力するか、短縮ダイヤルを発信します。

ステップ2 オフフックにします。

プラスダイヤル

プラスダイヤルでは、1秒以上*キーを押し続けると、電話番号の1桁目として国際電話用の「+」記号が付加されます。これは、オンフックダイヤルとオフフックダイヤルの両方に適用されます。

電話番号に+記号が付加された後は、着信履歴や通話履歴などのディレクトリへ移動して、国際電話用の数字を追加する必要なく、+記号の付いたエントリのいずれかを選択しダイヤルできます。

国際電話番号のダイヤル

手順

ステップ1 *キーを1秒以上押したままにします。電話番号の1桁目として+記号が入力されます（対応するトーンが停止しますが、これは*が+記号に変わったことを示します）。

ステップ2 国際電話番号をダイヤルします。

プライバシー

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すように設定できます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。共有回線が複数存在し、プライバシーが有効になっている場合は、他のユーザはすべての共有回線を表示できません。

回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

[共有回線](#), (74 ページ)

共有回線でのプライバシーの有効化

手順

-
- ステップ 1** プライバシー ボタンを押して機能を有効にします。
この機能が有効な場合は、電話スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
 - ステップ 2** この機能をオフにするには、もう一度ボタンを押します。
-

品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポート ツール) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

電話の問題のレポート

手順

-
- ステップ 1** 品質レポート ツール ボタンを押します。
 - ステップ 2** 発生した問題に最も近い項目を選択します (ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3** [選択] ソフトキーを押します。
情報がシステム管理者に送信されます。
-

リダイヤル

リダイヤル ボタンを押すと、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。

番号のリダイヤル

- [リダイヤル] ソフトキーを押します。
- 特定の電話回線でコールを発信するには、その回線のダイヤル トーンを受信してから [リダイヤル] ソフトキーを押します。

共有回線

共有回線を使用すると、1つの電話番号を複数の電話機で使用できます。

複数の電話機があり、電話番号は1つで、同僚とコール処理タスクを共有したり、管理者の代理でコールを処理したりする場合は、共有回線を使用します。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
- コールに応答した場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に変わります。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に変わります。
ボタンが赤色の場合は、その回線を使用してコールに割り込んだり、他のコールを発信したりできません。
- コールを保留にした場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅します。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に点滅します。
回線ボタンが赤色に点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、ボタンを押す、事前に設定したコードを入力する、または通話履歴から項目を選択することでコールを発信できます。電話機で短縮ダイヤル機能を使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページで短縮ダイヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のような短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用として設定された回線ボタンから電話番号をすばやくダイヤルできます。

- 短縮ダイヤルコード：コード（固定短縮ダイヤルとも呼ぶ）から電話番号をダイヤルできます。

システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータスインジケータを使用して短縮ダイヤル回線のステータスをモニタリングできます。

[Web での短縮ダイヤル](#)、（84 ページ）

[回線ステータス インジケータ](#)、（63 ページ）

短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

操作を行う前に

電話機で短縮ダイヤル ボタンを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページで短縮ダイヤルを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、短縮ダイヤル ボタン  を押します。

短縮ダイヤルコードを使用した発信

操作を行う前に

電話機で短縮ダイヤル コードを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページでコードを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮ダイヤル] ソフトキーを押します。

転送


転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。転送または直接転送を使用できます。

- 転送では、単一のコールを指定した別の番号へリダイレクトできます。
- 直接転送では、2つの異なる回線にある2つのコールを（自分自身は回線上に留まることなく）相互に接続できます。

転送手続きを完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押すと、その手続きをキャンセルできます。あるいは、[切替] ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話できます。

別の番号へのコールの転送


手順

-
- ステップ 1** 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ 2** 転送ボタン  を押します。
 - ステップ 3** 転送先の電話番号を入力します（または、短縮ダイヤル ボタンを押します）。
 - ステップ 4** 相手が応答するのを待ちます（またはコールの呼び出し中にステップ 5 へ進みます）。
 - ステップ 5** もう一度転送ボタンを押します。
転送が完了します。
-

別の回線へのコールの転送

この操作には、複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ 1** 接続しているコールが2つあり、そのうち1つのコールがアクティブである（保留されていない）ことを確認します。
 - ステップ 2** 転送ボタン  を押します。
 - ステップ 3** もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。
転送が完了します（2つのコールが相互に接続されます）。
-

転送完了前のコールの切り替え

手順

転送先と接続した後でコールをその通話相手に転送する前に、[切替] ソフトキーを押して2つのコールを切り替えます。

これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

WebDialer

WebDialer を使用すると、Cisco Unified CM ディレクトリの連絡先をクリックするだけでダイヤルできます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ディレクトリ] を選択して同僚を検索します。
 - ステップ 3 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[コールの開始] ページの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[コールの終了] を選択するか、電話機でコールを切断します。
-


WebDialer と他の社内ディレクトリの使用

手順

-
- ステップ 1 WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインして、同僚を検索します。
 - ステップ 2 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[コールの開始] ページの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[コールの終了] を選択するか、電話機でコールを切断します。
-


WebDialerの設定の管理

手順

-
- ステップ 1** WebDialer を使用してコールを開始し、[コールの開始] ページにアクセスします。
[コールの開始] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます（ダイヤルする番号を選択した後）。
- ステップ 2** [コールの開始] ページで、次のいずれかのオプションを選択します。
- 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。
 - 優先するデバイスを使用する：WebDialer コールを発信するのに使用する Cisco Unified IP Phone（コールに使用するデバイス）とディレクトリ番号（コールに使用する回線）を識別します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。同じタイプの電話機が複数台ある場合は、デバイス タイプと MAC アドレスで指定します（電話機に MAC アドレスを表示するには、アプリケーション ボタン  > [電話の情報] を選択します）。
- ステップ 3** (オプション) エクステンション モビリティ プロファイルを持っている場合、[コールの開始] ページの [コールに使用するデバイス] ドロップダウン メニューから [エクステンション モビリティ] を選択できます。
- コールの確認ダイアログを表示しない：これを選択すると、次に WebDialer を使用するとき WebDialer の [コールの開始] ページが表示されなくなります。Cisco ディレクトリの連絡先をクリックすると、コールが自動的にダイヤルされます。
 - 自動終了の無効化：これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-

WebDialer のログアウト

手順

[コールの開始] または [コールの終了] ページでログアウト アイコン  を選択します。



第 6 章

ユーザ オプション

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用すると [Cisco Unified CM のユーザ オプション] Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、サービスを制御できます。たとえば、[ユーザ オプション] Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

- [\[ユーザ オプション\] Web ページへのログイン, 79 ページ](#)
- [デバイスの設定, 80 ページ](#)
- [ユーザ設定, 87 ページ](#)
- [ディレクトリ, 89 ページ](#)
- [個人アドレス帳, 89 ページ](#)
- [ファスト ダイヤル, 91 ページ](#)
- [モビリティ設定, 94 ページ](#)
- [プラグイン, 96 ページ](#)

[ユーザ オプション] Web ページへのログイン

短縮ダイヤル設定や個人アドレス帳などのユーザ オプションを利用できるようにする前に、ログインする必要があります。また、[ユーザ オプション] Web ページの使用が終了したら、ログアウトする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション URL、ユーザ ID、デフォルト パスワードを取得します（システム管理者から）。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、その URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザ オプション] を選択すると、デバイスを選択してユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプションからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

デバイスの設定

[ユーザ オプション] Web ページから、電話機のデバイス設定を変更できます。次のデバイス設定は、電話機で変更できます。

- サイレント オプション
- 回線の設定
- 短縮ダイヤル
- 電話サービス

[短縮ダイヤル](#), (74 ページ)

デバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** [ユーザ オプション] Web ページにログインしたら、[ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
[デバイス設定] ページが表示されます。[デバイス設定] ページの最上部に表示されるツールバーボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイスを [名前] ドロップダウンメニューから選択します。

例:

電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル

サイレントオプションのカスタマイズ

手順

- ステップ 1** [ユーザオプション] Web ページにログインします。電話機の Do Not Disturb (DND; サイレント) 機能はシステム管理者が設定します。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを設定できます。
 - サイレント: チェックボックスをオンにして DND を有効にするか、無効にします。
 - DND オプション: [なし] または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。
 - DND 着信呼警告 (いずれかの DND オプションセットに適用) : アラートを [ビープ音のみ]、[フラッシュのみ]、[無効] に設定するか、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」の設定を使用するため)。

[サイレント, \(58 ページ\)](#)

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線の設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線の不在転送の設定
- 呼出音、表示、その他の電話機モデル固有の設定の変更

[不在転送, \(49 ページ\)](#)

[呼出音, \(31 ページ\)](#)

不在転送の設定

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ4 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ6 [着信コールの転送] 領域で、各種条件の不在転送設定を選択します。
 - ステップ7 [保存] を選択します。
-

[不在転送](#)、(49 ページ)

ボイス メッセージ インジケータ設定の変更

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ4 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ6 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。
 - ステップ7 [保存] を選択します。
-

オーディオ ボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 6 [オーディオ メッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。
- ステップ 7 [保存] を選択します。

呼出音設定の変更

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 6 [呼出音設定] 領域で、ドロップダウンメニューから [呼出音設定（電話がアイドルのとき）] と [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] のオプションを設定します。オプションは次のとおりです。
 - システム デフォルトの使用
 - 無効
 - フラッシュのみ
 - 一度鳴らす
 - 鳴らす
 - ビープ音のみ（このオプションは [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] の場合だけ指定可）
- ステップ 7 [保存] を選択します。

電話機のディスプレイの回線テキスト ラベルの編集

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 6 [回線のテキスト ラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。
- ステップ 7 [保存] を選択します。

Web での短縮ダイヤル

電話機の設定に応じて、短縮ダイヤルボタンや短縮ダイヤルコードを使用できます。これらの設定は [ユーザ オプション] Web ページで行えます。

短縮ダイヤル ボタンの設定

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [短縮ダイヤル] を選択します。
- ステップ 5 [短縮ダイヤル設定] 領域で、電話機の短縮ダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。

短縮ダイヤルコードの設定

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ4 [短縮ダイヤル] を選択します。
- ステップ5 [短縮ダイヤル設定] 領域で、短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。
- ステップ6 [保存] を選択します。

電話サービス

電話サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスにアクセスする前に、まず電話サービスに登録する必要があります。[ユーザ オプション] Web ページから、短縮ダイヤル ボタンへのサービスの登録、検索、または割り当てを実行できます。

電話機で使用できるサービスは、システム管理者が設定した電話機の設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。設定したサービスが複数ある場合は、電話機のディスプレイのメニューからサービスを選択します。

次の機能ボタンのいずれかを使用してサービスを選択します。



(システム管理者が設定する機能ボタン)



メッセージ



アプリケーション



連絡先

サービスへの登録

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ4 [IP Phone サービス] を選択します。
 - ステップ5 [新規追加] を選択します。
 - ステップ6 ドロップダウンリストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。
 - ステップ7 サービスラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。
 - ステップ8 [保存] を選択します。
-

サービスの検索

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 デバイスを選択します。
 - ステップ3 [IP Phone サービス] を選択します。
 - ステップ4 [検索] を選択します。
-

サービスの変更

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 サービスを検索します。
 - ステップ3 1つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ4 [選択項目の削除] を選択します。
-

サービス名の変更

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ2 サービスを検索します。
- ステップ3 サービス名を選択します。
- ステップ4 情報を変更して [保存] を選択します。

利用可能なボタンへのサービスの追加

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ3 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
- ステップ4 [サービス URL] を選択します。電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。
- ステップ5 [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。
- ステップ6 サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。
- ステップ7 [保存] を選択します。
- ステップ8 [リセット] を選択して電話機をリセットします（電話機の新しいボタン ラベルを表示するために必要です）。

ユーザ設定

PIN とパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。[ユーザ オプション] Web ページやパーソナルコンピュータの Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定には、ブラウザのパスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ブラウザのパスワードの変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 [現在のパスワード] を入力します。
 - ステップ 4 [新しいパスワード] を入力します。
 - ステップ 5 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードをもう一度入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

PIN の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 現在の PIN を入力します。
 - ステップ 4 新しい PIN を入力します。
 - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

ユーザ オプションの言語設定の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 [ユーザ ロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
 - ステップ 4 [保存] を選択します。
-

電話機のディスプレイの言語の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [ユーザ ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
 - ステップ 4 [保存] を選択します。
-

ディレクトリ

社内ディレクトリで同僚のリストを取得するには、[ユーザ オプション] > [ディレクトリ] を選択します。

コンピュータ上でアクセスできるディレクトリ機能は、次のとおりです。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)。電話機からもアクセスできます。
- ファスト ダイヤル。電話機からもアクセスできます。
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

[パーソナルディレクトリ, \(37 ページ\)](#)

[社内ディレクトリ, \(35 ページ\)](#)

個人アドレス帳

[ユーザ オプション] Web ページから、個人アドレス帳のエントリを追加、削除、または更新できます。

新しい個人アドレス帳エントリの追加

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 エントリの情報を入力します。
 - ステップ 5 [保存] を選択します。

個人アドレス帳のエントリの検索

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ3 検索情報を指定して [検索] を選択します。
-

個人アドレス帳のエントリの編集

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ3 ニックネームを選択します。
 - ステップ4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

個人アドレス帳のエントリの削除

手順

- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ3 1つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ4 [選択項目の削除] をクリックします。
-

個人アドレス帳のボタンの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [サービス URL] を選択します。
システム管理者はサービスを表示するように電話機を設定します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
 - ステップ 5 [ボタン] ドロップダウンリストボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
 - ステップ 6 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
 - ステップ 8 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
これでボタンを押すと PAB コードにアクセスできるようになります。
-

ファストダイヤル

[ユーザ オプション] Web ページから、ファストダイヤルエントリを追加、削除、または更新できます。

最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤルエントリを作成できます。新規のファストダイヤルエントリは、[ユーザ オプション] Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキストラベルは表示されません。

ファストダイヤルのボタンの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [サービス URL] (システム管理者から取得) を選択します。
 - ステップ 4 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [ファストダイヤル] サービスを選択します。
 - ステップ 5 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
 - ステップ 7 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
-

ファストダイヤルコードの個人アドレス帳エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 [検索オプション] 領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。
 - ステップ 5 [検索結果] 領域の電話番号をクリックします。
 - ステップ 6 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
-

ファストダイヤルコードの電話番号への割り当て

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ4 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ5 電話番号を入力します。
 - ステップ6 [保存] を選択します。
-

ファストダイヤルエントリの検索

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ3 検索情報を指定して [検索] を選択します。
-

ファストダイヤル電話番号の編集

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ3 編集するファストダイヤルエントリを検索します。
 - ステップ4 エントリのコンポーネントを選択します。
 - ステップ5 電話番号を変更します。
 - ステップ6 [保存] を選択します。
-

ファストダイヤル個人アドレス帳のエントリの削除

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 ファストダイヤルエントリを検索します。
 - ステップ3 1つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ4 [選択項目の削除] を選択します。
-

モビリティ設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

[モバイルコネクト](#), (65 ページ)

新規リモート接続先の追加

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [モビリティ設定] > [リモート接続先] を選択します。
 - ステップ3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ4 次の情報を入力します。

- 名前: 携帯電話 (または他の電話機) の名前を入力します。

- 接続先番号：携帯電話の番号を入力します。

ステップ 5 ドロップダウンリストボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されています。

ステップ 6 [携帯電話] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。

ステップ 7 [モバイル コネクトの有効化] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機と同時にリモート接続先が呼び出されます。

ステップ 8 [呼び出しスケジュール] 領域で次のいずれかのオプションを選択します（呼び出しスケジュールのドロップダウンリストボックスには、自分が作成したアクセスリストだけが表示されます）。

- 常に：リモート接続先の呼び出しに曜日や時間帯の制限を設けない場合は、このオプションを選択します。
- 次に指定されたとおり：曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択し、次のように項目を選択します。
 - 1 リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。
 - 2 曜日ごとに [1 日中] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。
 - 3 ドロップダウン リスト ボックスからタイム ゾーンを選択します。

ステップ 9 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。

- 常にこの接続先を呼び出す
- 発信者が次のアクセスリストに登録されている場合のみ、この接続先を呼び出す
- 発信者が次のアクセスリストに登録されている場合は、この接続先を呼び出さない

ステップ 10 [保存] を選択します。

アクセス リストの作成

手順

-
- ステップ 1** [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2** [ユーザ オプション] > [モビリティ設定] > [アクセス リスト] を選択します。
- ステップ 3** [新規追加] を選択します。
- ステップ 4** アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。
- ステップ 5** 指定されたコールをアクセス リストで許可するのか、ブロックするのかを選択します。
- ステップ 6** [保存] を選択します。
- ステップ 7** [メンバの追加] を選択して電話番号を追加するか、リストにフィルタを適用します。
- ステップ 8** [フィルタマスク] ドロップダウンリストボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。
- ステップ 9** [フィルタ マスク] ドロップダウンリスト ボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。
フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。
- X (大文字または小文字) : 数字 1 桁に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
 - !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての数字に一致します。
 - #: 完全一致の 1 桁として使用します。
- ステップ 10** アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存] を選択します。
- ステップ 11** アクセス リストを保存するには、[保存] を選択します。
-

プラグイン

[ユーザ オプション] Web ページのプラグインを使用すると、システム管理者が設定したアプリケーションをダウンロードしてそれにアクセスできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プラグインへのアクセス

手順

-
- ステップ1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション] > [プラグイン] を選択します。
システム管理者がプラグインを設定した場合のみ、プラグインが表示されます。
-



第 7 章

よくある質問、トラブルシューティング

- [よくある質問, 99 ページ](#)
- [トラブルシューティングのヒント, 100 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phoneのクリーニング, 102 ページ](#)

よくある質問

- Q.** ガイドに記載されているアイコンが電話スクリーンに表示されないのはなぜですか。
- A.** 電話スクリーンのアイコンの多くは、Cisco Unified IP Phone 6941 のみで表示されます。
- Q.** Cisco Unified IP Phone 6921 ではセカンダリ回線を機能ボタンとして使用できますか。
- A.** はい。2つの電話回線が不要な場合は、システム管理者がセカンダリ回線に機能を設定することができます。
- Q.** 保留ボタンを押してコールを保留にしましたが、もう一度保留ボタンを押してもコールが復帰しません。
- A.** 保留ボタンはコールを保留にするためだけに使用します。コールを再開するには、[復帰] ソフトキーまたは緑色に点滅する回線ボタンを押します。
- Q.** 稼働していた電話が稼働（「復帰」）しなくなったのはなぜですか。
- A.** システム管理者が EnergyWise を使用して電話機を設定している場合は、電話機がスリープ状態（電源オフ）になることがあります。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。選択ボタンを押して電話機を復帰させることもできます。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- Q.** 電話機で呼出音が4回続けて再生されますが、コールはありません。これは何を意味していますか。
- A.** 節電のために間もなく電話機が電源オフ（スリープ状態）になることを知らせています（EnergyWise機能）。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- Q.** 電話機に「セキュリティ エラー」というメッセージが表示された場合はどうすればよいですか。
- A.** 電話機のファームウェアによって内部エラーが検出されました。電話機のコードを電源コンセントから外し、1分待ってから再び接続します。メッセージが消えない場合はシステム管理者に問い合わせてください。

トラブルシューティングのヒント

次のトピックに関連するトラブルシューティングのヒントを参照できます。

- 会議
- パーソナル ディレクトリ
- 共有回線
- ユーザ オプション

会議

会議ボタンとソフトキーが反応しない

会議コールを設定しましたが、[会議] ソフトキーが使用できず、**会議**ボタンが反応しません。

考えられる原因

会議の参加者が最大数に達しています。

ソリューション

会議の参加者の1人に切断するよう求めるか、参加者を切断します。

ミーティング会議のビジー トーン

ミーティング会議にダイヤルした後でビジー トーンが聞こえます。

考えられる原因

会議のホストがまだ会議に参加していません。

ソリューション

再度発信します。

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリにログインできない

パーソナルディレクトリにログインできません。

ログインするのに、パスワードではなく Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を使用していることを確認してください。

考えられる原因

PIN をリセットする必要があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

共有回線

リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない

Cisco Unified IP Phone 6921 に共有回線があり、リモート回線が保留中に発信者 ID が表示されません。

考えられる原因

これは仕様どおりの動作です。

ソリューション

ありません。

ユーザオプション

[ユーザオプション] Web ページにアクセスできない

[ユーザオプション] Web ページにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

Cisco Unified IP Phoneのクリーニング

Cisco Unified IP Phoneをクリーニングするには、柔らかく乾いた布で電話機および電話スクリーンを優しく拭いてください。液体や粉末を電話機に直接当てないでください。他の非耐候性の電子機器の場合と同様に、液体や粉末は構成部品を損傷し、故障の原因になる可能性があります。

電話機が省電力モードのときは、タッチスクリーンが空白になり、選択ボタンは点灯していません。電話機がこの状態になっているときは、省電力モードになっていることがわかっている限り、きれいになるまで画面をクリーニングすることができます。クリーニング中に電話機が復帰しそうになったら、そのまま復帰させるか復帰するまで待つてから、上記のクリーニング手順を行います。



第 8 章

製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報

- [安全性とパフォーマンスの情報, 103 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, 104 ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, 104 ページ](#)
- [追加情報, 104 ページ](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電や他のデバイスが、Cisco Unified IP Phone に悪影響を及ぼすことがあります。

停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。電源の供給が停止した場合、電源が回復するまで、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話や双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。

- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタの品質を制御できないため、システムのパフォーマンスを保証することはいたしかねます。高品質のケーブルとコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、システムで十分なパフォーマンスが実現します。



警告

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザのためのアクセシビリティ機能があります。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、『[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phones 6921, 6941, and 6961](#)』を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

追加情報

- シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

- Cisco Unified IP Phone 6921、6941、6945、および 6961 のクイック リファレンス カード、クイック スタート ガイド、エンドユーザ ガイド：

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10326/products_user_guide_list.html

- ライセンス情報 :

http://cisco.com/en/US/products/ps10453/products_licensing_information_listing.html

- 各国のシスコ Web サイト :

www.cisco.com にアクセスし、Web ページの上部にある「Worldwide [change]」のリンクをクリックすると、各国のシスコ Web サイトにアクセスできます。



第 9 章

保証

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html



索引

A

AAP。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

B

BLF。参照先：[回線ステータス](#)

C

Cisco Mobile Connect。参照先：[モバイルコネク](#)

Cisco Unified CM のユーザ オプション。参照先：[ユーザ
オプション](#)

Cisco Unified IP Phone 6921 [1, 3, 6](#)

 スクリーン [3, 6](#)

 説明 [6](#)

 場所 [3](#)

 接続部 [1](#)

 ボタンとハードウェア [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [6, 8, 11](#)

 スクリーン [8, 11](#)

 説明 [11](#)

 場所 [8](#)

 接続部 [6](#)

 ボタンとハードウェア [8](#)

Cisco Unified IP Phone 6945 [12, 13, 16](#)

 スクリーン [13, 16](#)

 説明 [16](#)

 場所 [13](#)

 接続部 [12](#)

 ボタンとハードウェア [13](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [16, 18, 21](#)

 スクリーン [18, 21](#)

 説明 [21](#)

 場所 [18](#)

 接続部 [16](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 (続き)

 ボタンとハードウェア [18](#)

CMC [55](#)

 使用方法 [55](#)

 説明 [55](#)

CTI。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

D

DND [58, 81](#)

 オンおよびオフ [58](#)

 カスタマイズ [81](#)

 説明 [58](#)

E

EM [59](#)

 説明 [59](#)

 有効化 [59](#)

EnergyWise [25](#)

 説明 [25](#)

F

FAC [55, 56](#)

 使用方法 [56](#)

 説明 [55](#)

FAQ [99](#)

H

HAC。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

L

LED。参照先：[ランプ](#)

M

MAC アドレス [32, 78](#)

WebDialer [78](#)

電話の情報 [32](#)

MCID [64](#)

コールのトレース [64](#)

説明 [64](#)

P

PAB [89, 90, 91](#)

機能ボタンへの割り当て [91](#)

検索 [90](#)

削除 [90](#)

追加 [89](#)

編集 [90](#)

Power Save Plus。参照先：[EnergyWise](#)

Q

QRT [73](#)

説明 [73](#)

電話の問題のレポート [73](#)

QRT による問題のレポート [73](#)

T

TTY。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

W

WebDialer [77, 78](#)

Cisco ディレクトリ [77](#)

MAC アドレス [78](#)

社内ディレクトリ [77](#)

設定 [78](#)

設定の表示 [78](#)

設定の変更 [78](#)

説明 [77](#)

ログアウト [78](#)

WebDialer (続き)

ログイン [77](#)

あ

アイコン、回線ステータス [63](#)

アクセシビリティ機能 [104](#)

アクセス [27, 97](#)

サービス [27](#)

プラグイン [97](#)

アクセスリスト、作成 [96](#)

アプリケーション [3, 8, 13, 18, 27, 28, 31, 32, 33](#)

管理者設定 [33](#)

サービス [27](#)

設定 [31](#)

通話履歴 [28](#)

電話の情報 [32](#)

ボタン [3, 8, 13, 18](#)

Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)

Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

アラート [3, 54, 58, 61, 64](#)

オーディオ [54, 58, 61, 64](#)

DND [58](#)

MCID [64](#)

コール待機 [54](#)

保留復帰 [61](#)

サイレント [64](#)

ビジュアル [3, 54, 58, 61, 64](#)

DND [58](#)

MCID [64](#)

回線の状態 [3](#)

コール待機 [54](#)

保留復帰 [61](#)

安全性とパフォーマンス [103](#)

外部デバイス [103](#)

停電 [103](#)

い

インターコム [62](#)

ウィスパー [62](#)

コールの受信 [62](#)

説明 [62](#)

発信 [62](#)

う

ウィスパーク 62

え

エージェント グリーティング 48

説明 48

エクステンション モビリティ。参照先: EM

お

応答 48, 49, 53, 54

グループピックアップとグループピックアップ番号 53

グループピックアップと電話番号 53

スピーカフォンでの自動応答 49

説明 48

他グループピックアップ 54

ピックアップ 53

ヘッドセットでの自動応答 48

オーディオアラート。参照先: アラート、オーディオ
オーディオメッセージインジケータ。参照先: メッセージ
インジケータ

折返し 49

説明 49

通知の設定 49

オンおよびオフ 58, 65, 71

DND 58

ミュート 71

モバイルコネクト 65

オンフックでのダイヤル 72

説明 72

電話番号のダイヤル 72

音量 3, 8, 13, 18

Cisco Unified IP Phone 6921 3

Cisco Unified IP Phone 6941 8

Cisco Unified IP Phone 6945 13

Cisco Unified IP Phone 6961 18

か

会議 3, 8, 13, 18, 56, 57, 64

回線をまたいで複数のコールを接続 57

コール間の切り替え 57

参加者の削除 57

参加者の表示 57

会議 (続き)

説明 56

通話相手の追加 56

ボタン 3, 8, 13, 18

Cisco Unified IP Phone 6921 3

Cisco Unified IP Phone 6941 8

Cisco Unified IP Phone 6945 13

Cisco Unified IP Phone 6961 18

ミーティング 64

会議からの参加者の削除 57

解除 86

電話サービス 86

回線 3, 81, 82, 83, 84

設定 81, 82, 83

DND 81

コール転送 82

ボイスメッセージインジケータ 82, 83

呼出音 83

テキストラベル 84

作成 84

変更 84

ボタン、Cisco Unified IP Phone 6921 3

回線ステータス 63

アイコン 63

説明 63

外部デバイス 103

情報 103

注意 103

管理者設定 33

関連資料 104

き

キーパッド 3, 8, 13, 18

Cisco Unified IP Phone 6921 3

Cisco Unified IP Phone 6941 8

Cisco Unified IP Phone 6945 13

Cisco Unified IP Phone 6961 18

機能。参照先: コール機能

機能ボタンとソフトキーの一覧表 46

強制承認コード。参照先: FAC

共有回線 61, 73, 74

説明 74

プライバシーの有効化 73

保留 61

切り替え 57, 60, 76

会議コール 57

切り替え (続き)

- コールの切り替え [76](#)
- 保留コール [60](#)

く

クライアント識別コード。参照先：[CMC](#)

グループ ピックアップ [52, 53](#)

- 応答 [53](#)
- 説明 [52](#)
- 番号による応答 [53](#)

け

言語 [78, 88, 89](#)

- WebDialer の設定 [78](#)
- 電話機のディスプレイの変更 [89](#)
- [ユーザ オプション] Web ページの変更 [88](#)

検索 [35, 38, 86, 90, 93](#)

- PAB [90](#)
- 社内ディレクトリ [35](#)
- 電話サービス [86](#)
- パーソナルディレクトリ [38](#)
- ファストダイヤル [93](#)

こ

コール機能 [45, 48, 49, 50, 52, 54, 55, 56, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 72, 73, 74, 75, 77](#)

- C 割込 [54](#)
- DND [58](#)
- EM [59](#)
- MCID [64](#)
- QRT [73](#)
- WebDialer [77](#)
- インターコム [62](#)
- エージェント グリーティング [48](#)
- 応答 [48](#)
- 折返し [49](#)
- オンフックでのダイヤル [72](#)
- 会議 [56](#)
- 回線ステータス [63](#)
- 共有回線 [74](#)
- クラシック呼出音 [55](#)
- コード [55](#)
- コール待機 [54](#)

コール機能 (続き)

- コール パーク [50](#)
- コール ピックアップ [52](#)
- 自動応答 [48](#)
- 即転送 [58](#)
- 短縮ダイヤル [74](#)
- 転送 [75](#)
- ハントグループ [61](#)
- ファストダイヤル [59](#)
- 不在転送 [49](#)
- プライバシー [72](#)
- プラスダイヤル [72](#)
- 保留 [60](#)
- 保留復帰 [61](#)
- ミーティング [64](#)
- ミュート [66](#)
- モニタリングと録音 [66](#)
- モバイルコネクト [65](#)
- リダイヤル [73](#)
- コール待機 [54](#)
- 説明 [54](#)
- 通知への応答 [54](#)
- コールの接続。参照先：[転送](#)
- コールのリダイレクト [58](#)
- コール パーク [50, 51, 63](#)
- 回線ステータス インジケータ [63](#)
- 説明 [50](#)
- ダイレクト コール パーク [51](#)
- 手動 [51](#)
- パーク [51](#)
- 復帰 [51](#)
- コール ピックアップ [52, 53, 54](#)
- グループ ピックアップ電話番号 [53](#)
- グループ ピックアップ番号 [53](#)
- 説明 [52](#)
- 他グループ ピックアップ [54](#)
- ピックアップ [53](#)
- コール レコード [29, 31](#)
- 削除 [31](#)
- 詳細の表示 [29](#)
- コール ログ。参照先：[コール レコード](#)
- 個人アドレス帳。参照先：[PAB](#)
- コネクタ。参照先：[接続部](#)
- コントラスト [32](#)

さ

- サービス。参照先：[電話サービス](#)
- サイレント。参照先：[DND](#)
- サインイン、サインアウト。参照先：[ログインおよびログアウト](#)
- 削除 [31, 39, 41, 90](#)
 - PAB エントリ [90](#)
 - 通話履歴レコード [31](#)
 - パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード [41](#)
 - パーソナルディレクトリの連絡先 [39](#)
- 作成 [56, 84, 96](#)
 - 会議コール [56](#)
 - 電話回線ラベル [84](#)
 - モバイルコネクト用アクセスリスト [96](#)

し

- 自動応答 [48, 49](#)
 - スピーカフォン [49](#)
 - 説明 [48](#)
 - ヘッドセット [48](#)
- 自動転送。参照先：[不在転送](#)
- 社内ディレクトリ [35, 36](#)
 - コール中の連絡先の検索 [36](#)
 - コール中の連絡先へのダイヤル [36](#)
 - ダイヤル [35](#)
 - 連絡先の検索 [35](#)
- 手動ダイレクトコールパーク [51](#)
- 省電力 [25](#)
 - 説明 [25](#)
- 資料、関連 [104](#)

す

- スクリーン [3, 6, 8, 11, 13, 16, 18, 21](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3, 6](#)
 - 説明 [6](#)
 - 場所 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8, 11](#)
 - 説明 [11](#)
 - 場所 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13, 16](#)
 - 説明 [16](#)
 - 場所 [13](#)

スクリーン (続き)

- Cisco Unified IP Phone 6961 [18, 21](#)
 - 説明 [21](#)
 - 場所 [18](#)
- ステータス [3](#)
 - ボタン [3](#)
- スピーカフォン [3, 8, 13, 18, 49](#)
 - 自動応答 [49](#)
 - ボタン [3, 8, 13, 18](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

せ

- 製品のセキュリティ [104](#)
- セキュリティ、製品 [104](#)
- 接続部 [1, 6, 12, 16](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [1](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [6](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [12](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [16](#)
- 設定 [31, 32, 78, 84, 85](#)
 - WebDialer [78](#)
 - WebDialer の設定 [78](#)
 - コントラスト [32](#)
 - 短縮ダイヤルコード [85](#)
 - 短縮ダイヤルボタン [84](#)
 - 呼出音 [31](#)
- 選択ボタン。参照先：[ナビゲーションバー](#)

そ

- 即転送 [58](#)
 - 関連項目：[即転送](#)
 - コールのリダイレクト [58](#)
 - 説明 [58](#)
 - 関連項目：[即転送](#)
- ソフトキー [3, 8, 13, 18, 46](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)
 - 機能一覧表 [46](#)

た

- ダイヤル [29, 35, 39, 41, 72](#)
 - オンフック [72](#)
 - 社内ディレクトリの連絡先 [35](#)
 - 通話履歴 [29](#)
 - パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード [41](#)
 - パーソナルディレクトリの連絡先 [39](#)
- ダイレクト コール パーク [50, 51](#)
 - 手動 [51](#)
 - 説明 [50](#)
- 他グループ ピックアップ [52, 54](#)
 - 応答 [54](#)
 - 説明 [52](#)
- 短縮ダイヤル [63, 74, 75, 84, 85](#)
 - 回線ステータス インジケータ [63](#)
 - コード [74, 75, 85](#)
 - 設定 [85](#)
 - 説明 [74](#)
 - 発信 [75](#)
 - ボタン [74, 75, 84](#)
 - 設定 [84](#)
 - 説明 [74](#)
 - 発信 [75](#)
- 断続トーン [43](#)

ち

- 着信履歴 [28](#)
- 注意、外部デバイス [103](#)
- 直接転送 [75](#)

つ

- 追加 [38, 87, 89, 94](#)
 - PAB エントリ [89](#)
 - パーソナルディレクトリの連絡先 [38](#)
 - ボタンへの電話サービスの追加 [87](#)
 - モバイル コネクト用リモート接続先 [94](#)
- 通知 [49, 54, 61](#)
 - 関連項目：[アラート](#)
 - 折返し [49](#)
 - コール待機 [54](#)
 - 保留復帰 [61](#)
 - 関連項目：[アラート](#)

- 通話履歴 [28, 29, 30, 31](#)
 - クリア [30](#)
 - コール レコードの削除 [31](#)
 - ダイヤル [29](#)
 - 番号の編集 [30](#)
 - 表示 [28](#)
 - フィルタ [29](#)
- 通話履歴のクリア [30](#)
- 通話履歴のフィルタ [29](#)

て

- 停電 [103](#)
- ディレクトリ [35, 36, 37, 38, 39, 40, 77, 89](#)
 - 社内 [35, 36, 77](#)
 - WebDialer [77](#)
 - コール中の連絡先の検索 [36](#)
 - コール中の連絡先へのダイヤル [36](#)
 - 連絡先の検索 [35](#)
 - 連絡先へのダイヤル [35](#)
 - パーソナル [37, 38, 39, 40](#)
 - ファストダイヤルコード [40](#)
 - 連絡先の検索 [38](#)
 - 連絡先の削除 [39](#)
 - 連絡先の追加 [38](#)
 - 連絡先の編集 [40](#)
 - 連絡先へのダイヤル [39](#)
 - ログインおよびログアウト [38](#)
 - ユーザ オプション [89](#)
- デバイスの設定。参照先：[ユーザ オプション](#)
- 転送 [3, 8, 13, 18, 75, 76](#)
 - 切り替え [76](#)
 - 説明 [75](#)
 - 直接転送 [76](#)
 - ボタン [3, 8, 13, 18](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)
- 点滅。参照先：[アラート、ビジュアル](#)
- 電話機のディスプレイ [84, 89](#)
 - 回線ラベルの作成 [84](#)
 - 回線ラベルの変更 [84](#)
 - 言語の変更 [89](#)
- 電話サービス [27, 86, 87](#)
 - アクセス [27](#)
 - 検索 [86](#)

電話サービス (続き)

- 登録 [86](#)
- 名前の変更 [87](#)
- ボタンへの追加 [87](#)
- 電話の情報、モデル [32](#)
- 電話の問題、QRT によるレポート [73](#)
- 電話の問題のレポート [73](#)

と

- 登録、電話サービス [86](#)
- トラブルシューティングのヒント [100](#)

な

- ナビゲーションバー [3, 8, 13, 18](#)
- Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
- Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
- Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
- Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

は

- パーク。参照先：[コールパーク](#)
- パーソナルディレクトリ [37, 38, 39, 40](#)
 - ファストダイヤルコード [40](#)
 - 連絡先の検索 [38](#)
 - 連絡先の削除 [39](#)
 - 連絡先の追加 [38](#)
 - 連絡先の編集 [40](#)
 - 連絡先へのダイヤル [39](#)
 - ログインおよびログアウト [38](#)
- ハードウェア [3, 8, 13, 18](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)
- パスワード。参照先：[ブラウザのパスワード](#)
- 発信履歴 [28](#)
- ハントグループ [61, 62](#)
 - 説明 [61](#)
 - ログインおよびログアウト [62](#)
- ハンドセット [3, 8, 13, 18, 24](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - 場所 [3](#)
 - ランプ [3](#)

ハンドセット (続き)

- Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - 場所 [8](#)
 - ランプ [8](#)
- Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - 場所 [13](#)
 - ランプ [13](#)
- Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)
 - 場所 [18](#)
 - ランプ [18](#)
- 受け台 [24](#)

ひ

- ビジーランプ機能。参照先：[回線ステータス](#)
[ビジュアルアラート](#)。参照先：[アラート](#)、[ビジュアル](#)
[ピックアップ](#)。参照先：[コールピックアップ](#)
表示 [28, 29, 32, 57, 78](#)
- WebDialer の設定 [78](#)
- 会議参加者 [57](#)
- コールレコードの詳細 [29](#)
- 着信履歴 [28](#)
- 通話履歴 [28](#)
- 電話の情報 [32](#)
- 発信履歴 [28](#)
- 不在履歴 [28](#)

ふ

- ファストダイヤル [41, 59, 91, 92, 93](#)
 - PAB エントリへのコードの割り当て [92](#)
 - 機能ボタンへの割り当て [92](#)
 - 検索 [93](#)
 - コードの割り当て [93](#)
 - 説明 [59](#)
 - 発信 [59](#)
 - ファストダイヤルの使用 [59](#)
 - ファストダイヤルコードを使用したコールの発信 [41](#)
 - 編集 [93](#)
- ファストダイヤルコード [40, 41](#)
 - パーソナルディレクトリからの削除 [41](#)
 - パーソナルディレクトリへの割り当て [40](#)
- 不在転送 [49, 50, 82](#)
 - 条件付き [49](#)
 - 設定 [50, 82](#)
 - すべての回線 [82](#)

不在転送 (続き)
 設定 (続き)
 プライマリ回線 50
 説明 49
 無条件 49

不在履歴 28

不審なコール、トレース 64

不審なコールのトレース 64

復帰、コール 51, 61
 パーク 51
 保留 61

フットスタンド 21

プライバシー 72, 73
 共有回線での有効化 73
 説明 72

ブラウザのパスワード、変更 88

プラグイン 97

プラスダイヤル 72
 説明 72

プログラマブル機能ボタン 8, 13, 18
 Cisco Unified IP Phone 6941 8
 Cisco Unified IP Phone 6945 13
 Cisco Unified IP Phone 6961 18

へ

ヘッダー。参照先：スクリーン

ヘッドセット 3, 8, 13, 18, 48
 自動応答 48
 ボタン 3, 8, 13, 18
 Cisco Unified IP Phone 6921 3
 Cisco Unified IP Phone 6941 8
 Cisco Unified IP Phone 6945 13
 Cisco Unified IP Phone 6961 18

変更 32, 84, 86, 87, 88, 89
 言語 88, 89
 電話機のディスプレイ 89
 [ユーザ オプション] Web ページ 88

コントラスト 32

電話回線ラベル 84

電話サービス 86

電話サービス名 87

ブラウザのパスワード 88

呼出音 32

ロケール 88, 89
 電話機のディスプレイ 89
 [ユーザ オプション] Web ページ 88

編集 30, 40, 90, 93
 PAB エントリ 90
 通話履歴の電話番号 30
 パーソナルディレクトリの連絡先 40
 ファストダイヤル 93

ほ

ボイスメール。参照先：メッセージ

ボイスメールのカスタマイズ 43

ボイスメールの個人設定 43

ボイスメッセージ。参照先：メッセージ

ボイスメッセージの確認 43

ボイスメッセージの聞き取り 44

ボタン 3, 8, 13, 18, 46
 Cisco Unified IP Phone 6921 3
 アプリケーション 3
 音量 3
 会議 3
 回線 3
 スピーカフォン 3
 ソフトキー 3
 転送 3
 ナビゲーションバー 3
 ヘッドセット 3
 保留 3
 ミュート 3
 メッセージ 3
 連絡先 3

 Cisco Unified IP Phone 6941 8
 アプリケーション 8
 音量 8
 会議 8
 スピーカフォン 8
 選択 8
 ソフトキー 8
 転送 8
 ナビゲーションバー 8
 プログラマブル機能 8
 ヘッドセット 8
 保留 8
 ミュート 8
 メッセージ 8
 連絡先 8

 Cisco Unified IP Phone 6945 13
 アプリケーション 13
 音量 13

ボタン (続き)

Cisco Unified IP Phone 6945 (続き)

- 会議 [13](#)
- スピーカフォン [13](#)
- 選択 [13](#)
- ソフトキー [13](#)
- 転送 [13](#)
- ナビゲーションバー [13](#)
- プログラマブル機能 [13](#)
- ヘッドセット [13](#)
- 保留 [13](#)
- ミュート [13](#)
- メッセージ [13](#)
- 連絡先 [13](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

- アプリケーション [18](#)
- 音量 [18](#)
- 会議 [18](#)
- スピーカフォン [18](#)
- 選択 [18](#)
- ソフトキー [18](#)
- 転送 [18](#)
- ナビゲーションバー [18](#)
- プログラマブル機能 [18](#)
- ヘッドセット [18](#)
- 保留 [18](#)
- ミュート [18](#)
- メッセージ [18](#)
- 連絡先 [18](#)

機能一覧表 [46](#)保留 [3, 8, 13, 18, 60, 61](#)

- 新しいコール [60](#)
- 共有回線 [61](#)
- コール間の切り替え [60](#)
- 説明 [60](#)
- ボタン [3, 8, 13, 18](#)

- Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
- Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
- Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
- Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

保留復帰 [61](#)

- 説明 [61](#)
- 通知 [61](#)
- 通知への応答 [61](#)

み

- ミーティング [64, 65](#)
 - 会議 [64, 65](#)
 - 開催 [64](#)
 - 参加 [65](#)
 - 説明 [64](#)
- ミュート [3, 8, 13, 18, 66, 71](#)
 - オンおよびオフ [71](#)
 - 説明 [66](#)
 - ボタン [3, 8, 13, 18](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

め

迷惑呼の発信者 ID。参照先：[MCID](#)

- メッセージ [3, 8, 13, 18, 43, 44](#)
 - 確認 [43](#)
 - 聞き取り [44](#)
 - ボイスメールの個人設定 [43](#)
 - ボタン [3, 8, 13, 18](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)
- メッセージインジケータ [43, 82, 83](#)
 - オーディオ、変更 [83](#)
 - ボイス、変更 [82](#)
- メニュー [8, 13](#)
 - アプリケーション [8, 13](#)
 - ディレクトリ [8, 13](#)

も

- モデル情報 [32](#)
- モバイル コネクト [65, 66, 94, 96](#)
 - アクセス リストの作成 [96](#)
 - オンおよびオフ [65](#)
 - 切り替え [66](#)
 - 携帯電話からデスク [66](#)
 - デスクから携帯電話 [66](#)
 - 説明 [65](#)
 - リモート接続先の追加 [94](#)

ゆ

有効化 [59, 73](#)EM [59](#)プライバシー [73](#)ユーザ オプション [79, 80, 81, 84, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 96, 97](#)PAB [89, 90, 91](#)エントリの編集 [90](#)エントリの検索 [90](#)エントリの削除 [90](#)エントリの追加 [89](#)機能ボタンへの割り当て [91](#)ディレクトリ [89](#)デバイス [80, 81, 84](#)回線の設定 [81](#)選択 [80](#)短縮ダイヤル [84](#)ファストダイヤル [91, 92, 93](#)PAB エントリへのコードの割り当て [92](#)機能ボタンへの割り当て [92](#)検索 [93](#)コードの割り当て [93](#)編集 [93](#)プラグイン [97](#)モビリティ [94, 96](#)アクセス リストの作成 [96](#)リモート接続先の追加 [94](#)ユーザ設定 [88, 89](#)電話機のディスプレイの言語の変更 [89](#)ブラウザのパスワードの変更 [88](#)[ユーザ オプション] Web ページの言語の変更 [88](#)ログインおよびログアウト [79](#)ユーザ設定。参照先：[設定](#)

よ

よくある質問。参照先：[FAQ](#)呼出音 [31](#)呼出音設定、変更 [83](#)

ら

ランプ [3](#)赤色 [3](#)点灯 [3](#)点滅 [3](#)

ランプ (続き)

オレンジ色、点滅 [3](#)ハンドセット [3](#)緑色 [3](#)点灯 [3](#)点滅 [3](#)

り

リダイヤル [73, 74](#)説明 [73](#)番号 [74](#)リモート接続先。参照先：[ユーザ オプション](#)

れ

連絡先 [3, 8, 13, 18, 35, 36, 37, 38, 39, 40](#)社内ディレクトリ [35, 36](#)コール中の連絡先の検索 [36](#)コール中の連絡先へのダイヤル [36](#)連絡先の検索 [35](#)連絡先へのダイヤル [35](#)パーソナルディレクトリ [37, 38, 39, 40](#)ファストダイヤルコード [40](#)連絡先の検索 [38](#)連絡先の削除 [39](#)連絡先の追加 [38](#)連絡先の編集 [40](#)連絡先へのダイヤル [39](#)ログインおよびログアウト [38](#)ボタン [3, 8, 13, 18](#)Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)Cisco Unified IP Phone 6945 [13](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [18](#)

ろ

ログ。参照先：[通話履歴](#)ログインおよびログアウト [38, 62, 77, 78, 79](#)WebDialer [77, 78](#)パーソナルディレクトリ [38](#)ハント グループ [62](#)ユーザ オプション [79](#)

ロケール [88, 89](#)

電話機のディスプレイの変更 [89](#)

[ユーザ オプション] Web ページの変更 [88](#)

わ

割り当て [40, 91, 92, 93](#)

PAB エントリへのファスト ダイヤル コードの割り当て [92](#)

機能ボタンへの PAB の割り当て [91](#)

パーソナル ディレクトリのファスト ダイヤル コード [40](#)

ファスト ダイヤル機能ボタン [92](#)

ファスト ダイヤル コード [93](#)

